

は し が き

この年報は、令和3年における釧路北部消防事務組合（弟子屈町・標茶町・鶴居村）の消防実績と現勢、更に諸般の事項を集録し、今後の消防体制強化と火災予防上の参考に資するとともに、有効に活用するため編集したものです。

この年報を通じて地域住民の防火に対する指針、消防行政執務の参考となれば幸甚です。

諸統計中、特記するものを除き、令和3年1月1日から令和3年12月31日までの記録及び12月31日現在で集録したものです。

令和4年3月

釧路北部消防事務組合消防本部

目 次

釧路北部消防事務組合の現況と沿革	1
1. 弟子屈町・標茶町・鶴居村の位置	1
2. 釧路北部消防事務組合の概要	1
3. 地勢及び気候風土	1
(1) 地域の範囲及び面積	1
(2) 自然条件（気象、地形、土質、水利）	2
4. 交通・通信・運輸状況	2
釧路北部消防事務組合組織機構図	3
釧路北部消防事務組合管内図	5
消防のあゆみ	6～18

総 務 編

令和2年度決算額及び令和3年度当初予算額	21
令和3年度普通建設事業費調、令和2年度普通建設事業費調(決算)	22
人口・世帯数及び面積、消防本部・消防署人員配置状況	23
職員勤続状況、職員年令別状況、職員教育状況	24
消防団員人員配置状況、消防団員勤続年数別状況	25
消防団員階級別職業別状況	26
消防職・団員及び消防自動車単位当たり数	27

予 防 編

一般家庭査察件数、防火対象物査察指導件数	31
防火対象物数	32
建築許可等同意月別取扱件数	33
各種申請及び届出等の取扱件数	34
危険物製造所等別貯蔵・取扱数量、地区別危険物製造所等設置状況	35
火災予防のための広報活動及び応急手当の普及啓発活動	36

施 設 編

消防庁舎の現況	39
消防機械現有数	40～41
消防水利保有数、消防用ホース現有数	42
消防用機器及び資材保有状況	43

火 災 統 計

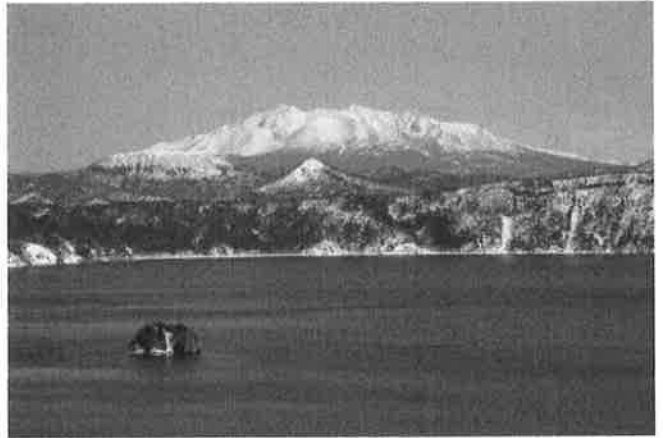
火災概況、火災件数	47
令和3年中火災発生状況	48
消防署別火災発生状況、過去10ヶ年月別火災発生件数	49
令和3年月別火災統計、過去3ヶ年火災原因別発生件数、時間別発生状況	50

救 急 統 計

救急概況、救急業務統計	53
消防署別救急業務取扱状況	54～57



川湯硫黄山(弟子屈町)



摩周湖(弟子屈町)



多和平展望台(標茶町)

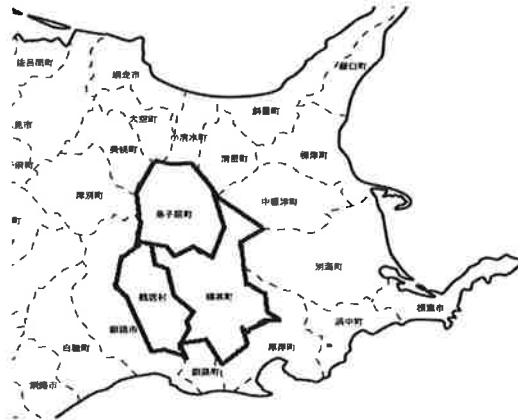


丹頂鶴(鶴居村)

釧路北部消防事務組合の現況と沿革

1 弟子屈町・標茶町・鶴居村の位置

釧路北部消防事務組合は、北海道釧路総合振興局所在地より北へ約 20～70 km の地点に位置している。



位	置
区分	東経 北緯
弟子屈町	144° 36′ 43° 42′
標茶町	144° 29′ 43° 19′
鶴居村	144° 19′ 43° 13′

2 釧路北部消防事務組合の概要

当組合は広域消防行政推進の趣旨に則り、昭和 48 年 4 月 1 日をもって、川上郡弟子屈町、標茶町の 2 町を構成町とし、釧路総合振興局管内の北部に位置することから「釧路北部消防事務組合」と称し、一部事務組合として発足した。平成 17 年 10 月には、釧路西部消防組合の解散に伴い、その中の鶴居村が釧路北部消防事務組合に編入し、現在 2 町 1 村での組合構成となっている。

当組合の主産業は酪農と観光を主流とし、阿寒国立公園内の屈斜路湖を水源とする釧路川を中心に、その水系の両岸に広がる丘陵台地に広く点在する酪農家と、摩周火山系による摩周温泉、川湯温泉を中心とした観光が経済活動の主軸となっており、これらを取りかこむようにして広大な国有林を有し、かつては林業の町として栄えたこともあったが現在では森林資源休養の時代となり、将来に期待されている。消防が管轄する総面積は 2,445.50 km² と広大で、酪農家の一戸当たり保有面積はおよそ 70ha で約 430 戸の酪農家が点在する。これらの酪農家の経済活動となる集落と温泉観光地の高層建築物のホテル街、役場を中心とした商店街からなり、それぞれに消防署、支署、消防団、分団(部)の配置が必要のため、消防力の分散による消防財政への影響が極めて大きい。

3 地勢及び気候風土

(1) 地域の範囲及び面積

釧路北部消防の総面積は 2,445.50 km² (弟子屈町 774.33 km²、標茶町 1,099.37 km²、鶴居村 571.80 km²) で、東西 55 km、南北 92 km の千島系火山脈と平野に囲まれた地域であり、北東はオホーツク総合振興局管内、根室振興局管内に、南西は釧路市阿寒町

に接し、釧路、根室、オホーツク、十勝のちょうど内陸の中心地帯である。

更に、弟子屈町は阿寒国立公園の60%の面積を、標茶町・鶴居村合せて釧路湿原の75%の面積を占める位置にあり、自然景観に恵まれている。

(2) 自然条件

気 象

気候は一般的に冷涼で積算温度は極めて低く、降雪期の始まりは11月下旬で降雪量は50～80 cmと比較的少なく、土面の凍結度は著しい。又、平均の初霜は10月上旬、晩霜が5月下旬で年により変動はあるが霜害を被ることが多い。加えて濃霧の発生が多く日照時間が少ない地域である。

地 形

弟子屈町の大部分は千島火山系に属する高原地帯で、一般に峻嶺の余波を受け起伏が多く、活火山を有し507.09 km²の森林に囲まれている。

標茶町は山岳部が少なく、釧路川流域の平野と丘陵台地が大半を占めている。

鶴居村は阿寒カルデラ外輪山を貫流する雪裡、幌呂、久著呂の各川の流域に沿って広がる原野で構成されている。

組合内の起伏については最低が釧路湿原地帯の海拔3.6m、最高が阿寒山麓の原始林帯で海拔812mとなっている。

土 質

弟子屈町の中心部に至る屈斜路湖及び釧路川周辺に一部沖積層が分布し、小河川に沿って湿地、泥炭層が点在するほか大部分は摩周系火山灰土で地味乏しく、酸性土壌で地力の消耗が著しい。反面、標茶町と鶴居村の多くの丘陵間に熊牛、御卒別、久著呂、雪裡、幌呂、茶安別、阿歴内等の原野を有し、地質は第3紀層に属し、概ね肥沃である。

水 利

屈斜路湖を源流とする釧路川は、兩岸の丘陵地から流れ出す小河川と合流して地域の中央部を縦貫し、釧路湿原を経て太平洋に注いでいる。又、北東部の西別川は摩周湖の浸出水を源として虹別原野、根室振興局管内別海町を経てオホーツク海に注いでいる。

4 交通・通信・運輸状況

地域の中央部を釧路川に沿ってJR北海道釧網線が南北に走り、弟子屈町を中心に国道、道道がそれぞれ釧路、網走、北見、根室、帯広の各都市に結ばれ、冬期間の一部を除き定期バス、観光バスが運行している。更には各地区に町村道、農道が発達し、酪農製品である生乳の運搬路として交通の便は良好である。又、通信施設は、一般加入電話に加え、IT関連の通信や携帯電話各社等、広く普及されている。



標茶消防庁舎



川湯消防庁舎



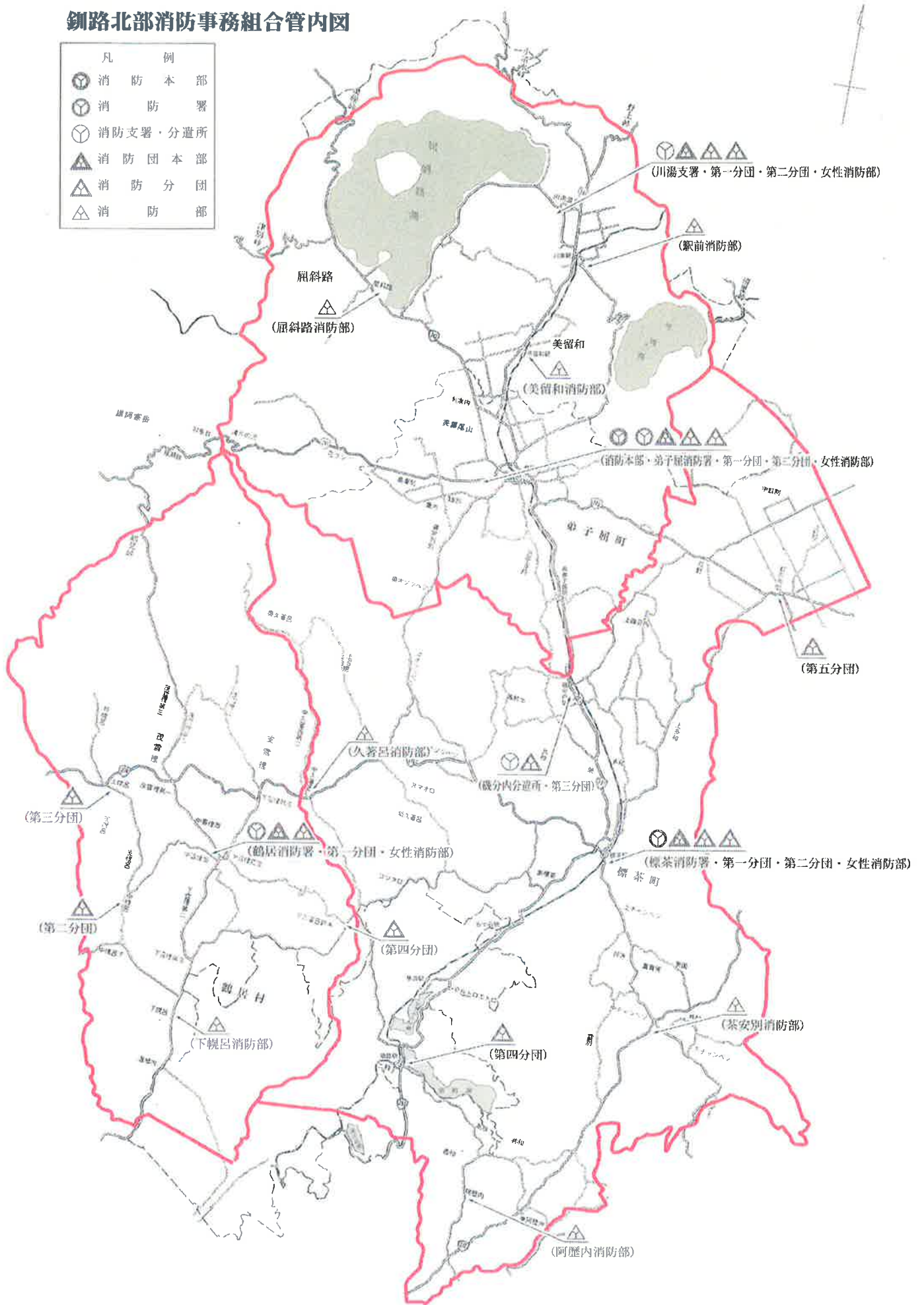
弟子屈消防庁舎



鶴居消防庁舎

鉦路北部消防事務組合管内図

- | 凡 例 | |
|-----|---------------|
| | 消 防 本 部 |
| | 消 防 署 |
| | 消 防 支 署・分 遣 所 |
| | 消 防 団 本 部 |
| | 消 防 分 団 |
| | 消 防 部 |



消 防 の あ ゆ み

1 釧路北部消防事務組合

昭和46年	1月 2日	消防一部事務組合設立準備のため弟子屈、川湯、標茶各消防団に趣旨説明
47年	4月 24日	組合設立のため消防事務協議会開催
	6月 2日	組合設立のため三消防団幹部協議会開催
	6月19日	組合構成理事者及び町議会議員合同打合せ会議開催
	6月22日	町議会に広域消防化を提案
	7月27日	組合構成弟子屈、標茶両町議会議員による協議会開催
48年	3月 8日	釧路北部消防事務組合規約等協議
	3月12日	弟子屈、標茶両町議会で一部事務組合設置が議決される
	3月29日	一部事務組合の許可申請手続
48年	4月 1日	地方自治法第284条第1項の規定により「釧路北部消防事務組合」設立許可 釧路北部消防事務組合消防本部を川上郡弟子屈町字弟子屈190番地に設置 消防団を組合消防団に改める 組合消防署を新設、弟子屈、川湯、標茶に支署を置く 組合長に堀田正次郎氏(弟子屈町長)就任 組合助役に藤野照高氏(弟子屈町助役)就任 組合収入役に斉藤修氏(弟子屈町収入役)就任
	4月 6日	組合議長に門屋盛吾氏(標茶町長)を選出
	5月10日	初代消防長兼消防署長に守護泰因氏就任
	8月10日	北海道消防操法大会に川湯消防団が出席し優勝
	10月 1日	根室北部消防事務組合と相互応援協定締結
	11月28日	標茶支署に水槽付消防ポンプ自動車を購入し配置する 標茶町虹別に分団詰所新築及び小型動力ポンプ付積載車を購入し配置する
49年	8月10日	消防無線電話機設置(基地局、弟子屈、川湯、標茶各支署)
	8月14日	標茶町中久著呂に小型動力ポンプ付積載車を購入し配置する
	10月28日	川湯支署に屈折梯子付消防ポンプ自動車(20m級)を購入し配置する
50年	2月	日本消防協会より優良消防団として表彰旗を授与される(川湯消防団)
	3月27日	日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受け、弟子屈支署に配置する 救急自動車(国岡号)川湯支署へ配置替え
	3月31日	標茶消防団第10代目団長三本仙一郎氏勇退
	4月 1日	標茶消防団第11代目団長に森山広太郎氏就任 釧路西部消防組合と相互応援協定締結 消防団組織規則の改正により弟子屈消防団を二分団制とし、第一分団屈斜路班を設置する 川湯消防団を二分団制とする 標茶消防団を五分団制とする
	5月 1日	組合長に横山徳住氏(弟子屈町長)就任
	5月26日	組合議長に門屋盛吾氏(標茶町長)を選出
	5月30日	組合助役に吉田千代司氏(弟子屈町助役)就任
	9月 1日	標茶消防団第四分団阿歴内班を設置する
	9月23日	弟子屈町屈斜路に小型動力ポンプ付積載車を購入し配置する
	10月15日	標茶支署に林野火災工作車を購入し配置する
51年	7月22日	斜里地区消防組合と相互応援協定締結
	9月25日	釧路管内消防団員技能競技大会を川湯で開催し川湯消防団優勝(小型ポンプの部)
	10月17日	標茶町中茶安別に小型動力ポンプ付積載車を購入し配置する
	12月 8日	釧路北部防火管理協議会設立
52年	1月31日	標茶消防団長森山広太郎氏死去
	3月 1日	標茶消防団第12代目団長に千葉義一氏就任

	3月 1日	弟子屈消防団第二分団美留和班を設置する
	7月 8日	標茶町中茶安別に班詰所を新築
	7月 21日	北海道消防操法大会に標茶消防団が出場
	10月 1日	標茶町塘路に消防ポンプ自動車を購入し配置する
	10月 2日	弟子屈町川湯駅前に小型動力ポンプ付積載車を購入し配置する
	11月 23日	弟子屈町屈斜路に班詰所を新築
	12月 25日	組合収入役に佐々木進氏(弟子屈町収入役)就任
53年	2月 1日	日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受け、標茶支署に配置(更新)する
	3月 15日	釧路北部地区危険物安全協会設立
	8月 31日	弟子屈町美留和に小型動力ポンプ付積載車を購入し配置する
	9月 14日	釧路管内消防団員技能競技大会(釧路市)に標茶消防団第三分団優勝(消防自動車ポンプの部)
	9月 26日	高橋拓蔵氏からマイクロバスの寄贈を受け、「拓伸号」と命名し弟子屈支署に配置する
	10月 25日	標茶町磯分内に小型動力ポンプ付水槽車(5,000ℓ)を購入し配置する
	11月 20日	弟子屈町川湯駅前に班詰所を新築
	11月 25日	標茶町阿歴内に班詰所を新築
54年	2月 28日	標茶消防団第12代目団長千葉義一氏勇退
	3月 1日	標茶消防団第13代目団長に高橋昭寿氏就任
	5月 1日	組合長に横山徳住氏(弟子屈町長)就任 副組合長に阿部悟郎氏就任(標茶町長)就任
	5月 31日	組合議長に野崎好文氏(標茶町議会議員)を選出
	6月 1日	弟子屈支署、標茶支署が消防署に昇格し弟子屈消防署長に笹川三勇士氏、標茶消防署長に河合養七氏発令
	8月 23日	弟子屈消防署川湯支署に消防ポンプ自動車を購入し配置する
	9月 12日	標茶消防署に水槽付消防ポンプ自動車を購入し配置する
	9月 13日	組合収入役に佐々木進氏(弟子屈町収入役)就任
	9月 14日	釧路管内消防団員技能競技大会を標茶町で開催
	10月 20日	弟子屈町美留和に班詰所を新築
55年	4月 1日	美幌津別消防事務組合と相互応援協定締結
	6月 1日	釧路東部消防組合と相互応援協定締結
	8月 1日	釧路北部少年婦人防火委員会設立 弟子屈婦人防火クラブ設立 標茶婦人防火クラブ設立 標茶少年消防クラブ設立 磯分内少年消防クラブ設立
	8月 22日	北海道消防操法大会に弟子屈消防団が出場し準優勝
	9月 10日	標茶消防署に消防ポンプ自動車を購入し配置する
	10月 30日	弟子屈消防署に小型動力ポンプ付水槽車(10,000ℓ)を購入し配置する
	12月 13日	日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受け、川湯支署に配置(更新)する
56年	3月 31日	釧路北部消防事務組合消防本部及び弟子屈消防署庁舎新築移転(川上郡弟子屈町字鑑別原野 42線西 20番 69)
	4月 16日	標茶消防署長に越善誕氏発令
	4月 20日	消防本部に広報車を購入し配置(更新)する
	9月 19日	釧路管内消防団員技能競技大会を弟子屈で開催し川湯消防団優勝(小型ポンプの部、消防自動車ポンプの部)
57年	2月 1日	釧路市消防本部と相互応援協定締結
	5月 13日	釧路北部防火管理協議会解散
	6月 1日	弟子屈防火管理協議会設立 川湯防火管理協議会設立 標茶防火管理協議会設立
	10月 8日	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け、「火災保険号」と命名し弟子屈消防署に配置する

	10月13日	全国消防長会技術委員会を弟子屈町で開催
	10月27日	標茶消防署に小型動力ポンプ付水槽車(10,000ℓ)を購入し配置する
58年	3月10日	弟子屈消防団長古屋利八氏死去
	3月30日	納谷幸治氏から広報車の寄贈を受け、「納谷号」と命名し弟子屈消防署川湯支署に配置する
	4月1日	弟子屈消防団第7代目団長に佐藤繁一氏就任
	4月21日	標茶消防署に広報車を購入し配置する
	5月1日	組合長に横山徳住氏(弟子屈町長)就任 副組合長に阿部悟郎氏(標茶町長)就任
	6月2日	組合議長に鈴木兼好氏(標茶町議会議員)を選出
	7月1日	標茶消防署長に西村泉氏発令
	9月13日	組合収入役に佐々木進氏(弟子屈町収入役)就任
	11月14日	弟子屈消防署川湯支署に水槽付消防ポンプ自動車(3,000ℓ)を購入し配置する
59年	3月8日	日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受け、弟子屈消防署に配置(更新)する
	7月27日	北海道消防操法大会に川湯消防団が出場
	8月24日	全国消防救助技術大会(名古屋市)に弟子屈消防署員が出場(梯子登はん)
	10月30日	弟子屈消防署に広報車を購入し配置(更新)する
60年	2月28日	川湯消防団第3代目団長根津文男氏勇退
	3月1日	川湯消防団第4代目団長に鈴木義光氏就任
	4月1日	標茶消防署長に関澤幸一氏発令 立正館幼稚園幼年消防クラブ設立・立正館婦人防火クラブ設立 川湯少年消防クラブ設立
	8月26日	組合議長に江幡義夫氏(弟子屈町議会議員)を選出
	9月16日	釧路管内消防団員技能競技大会(厚岸町)に川湯消防団優勝(消防自動車ポンプの部)
61年	1月21日	弟子屈消防署長に澤頭昇氏発令
	6月20日	第38回北海道消防大会開催(弟子屈町)
	7月8日	標茶消防署庁舎新築移転(川上郡標茶町字標茶104番50)
	8月22日	全国消防救助技術大会(神戸市)に標茶消防署員が出場(梯子登はん)
	9月10日	財団法人日本消防協会から広報車の寄贈を受け弟子屈消防署に配置する
	9月19日	五月女克氏、榎本綾子氏、山口芳雄氏、川湯消防後援会からマイクロバスの寄贈を受け、弟子屈消防署川湯支署に配置する
	9月20日	釧路管内消防団員技能競技大会(釧路市)で川湯消防団優勝(小型ポンプの部)
62年	1月30日	標茶消防署に救急自動車を購入し配置(更新)する
	4月3日	消防長に坪井長治氏発令
	5月1日	組合長に横山徳住氏(弟子屈町長)就任 副組合長に阿部悟郎氏(標茶町長)就任
	5月26日	組合議長に江上義信氏(弟子屈町議会議員)を選出
	9月12日	釧路管内消防団員技能競技大会(鶴居村)に標茶消防団優勝(消防自動車ポンプの部)
	9月13日	組合収入役に佐々木進氏(弟子屈町収入役)就任
	11月24日	弟子屈消防署に水槽付消防ポンプ自動車(3,000ℓ)を購入し配置する
	11月25日	標茶消防署に水槽付消防ポンプ自動車(7,000ℓ)を購入し配置する
63年	7月29日	北海道消防操法大会に標茶消防団が出場し優勝(ポンプ車操法)
	9月10日	釧路管内消防団員技能競技大会を川湯で開催し川湯消防団優勝(小型ポンプの部)
	11月4日	弟子屈消防署にマイクロバスを購入し配置(更新)する
平成元年	2月17日	消防長に伊藤聖治氏発令
	3月31日	標茶消防署に広報車を購入し配置する
	5月28日	弟子屈消防団が消防施設充実のため消防植林(約10ha)する
	9月9日	釧路管内消防団員技能競技大会(浜中町)で川湯消防団優勝(小型ポンプの部)
2年	4月1日	標茶消防署長に鈴木健一氏発令
	9月14日	釧路管内消防団員技能競技大会を標茶で開催し弟子屈消防団優勝(小型ポンプの部)

	12月11日	弟子屈消防署川湯支署(弟子屈町役場川湯支所)新築(川上郡弟子屈町字川湯国有林弟子屈事業区旧218林班八小班)
3年	4月1日	北海道広域消防相互応援協定締結
	4月12日	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車(2,000ℓ)の寄贈を受け、「摩周号」と命名し弟子屈消防署に配置する
	4月15日	消防本部に指令車を購入し配置(更新)する
	5月1日	組合長に吉田千代司氏(弟子屈町長)就任 副組合長に千葉健氏(標茶町長)就任
	5月27日	組合議長に鴨志田友則氏(弟子屈町議会議員)を選出
	8月6日	日本赤十字社北海道支部釧路支部弟子屈町分区から救急自動車の貸与を受け、弟子屈消防署川湯支署に配置(更新)する
4年	1月29日	組合収入役に岡田勉氏(弟子屈町収入役)就任
	7月31日	北海道消防操法大会に弟子屈消防団が出場し優勝(小型ポンプの部)
	9月1日	標茶消防団に女性消防班を設置する
	10月14日	全国消防操法大会に北海道代表として弟子屈消防団が出場し優良賞(小型ポンプの部)
	10月16日	標茶の消防創設100年記念式典を挙げる(標茶消防署・標茶消防団)
	11月24日	釧路北部消防事務組合消防本部及び弟子屈消防署庁舎の住所の名称変更(川上郡弟子屈町美里2丁目1番1号)
5年	3月2日	標茶町磯分内に水槽付消防ポンプ自動車(1,500ℓ)を購入し配置(更新)する 標茶町中久著呂に小型動力ポンプ付積載車を購入し配置(更新)する
	4月1日	消防長に安倍良博氏発令 標茶消防署長に川村毅氏発令
	9月11日	釧路管内消防団員技能競技大会(釧路町)に弟子屈消防団優勝(消防自動車ポンプの部)
	10月14日	釧路北部消防事務組合創立20周年記念式典を挙げる(釧路圏摩周観光文化センター)
6年	2月7日	標茶消防署に救助工作車を購入し配置する 標茶町虹別に小型動力ポンプ付水槽車(5,000ℓ)を購入し配置する
	9月10日	釧路管内消防団員技能競技大会を弟子屈町で開催し弟子屈消防団優勝(消防自動車ポンプの部)
7年	3月14日	標茶町中茶安別に小型動力ポンプ付積載車を購入し配置(更新)する
	3月31日	川湯消防団第4代目団長鈴木義光氏勇退
	4月1日	川湯消防団第5代目団長に見澤憲政氏就任
	5月1日	組合長に岡田勉氏(弟子屈町長)就任 副組合長に千葉健氏(標茶町長)就任
	5月17日	組合議長に松岡悟氏(弟子屈町議会議員)を選出
	5月30日	組合収入役に西郷満氏(弟子屈町収入役)就任
	6月14日	弟子屈ロータリークラブから広報車の寄贈を受け、「国際ロータリー弟子屈号」と命名し弟子屈消防署に配置する
	9月30日	弟子屈消防団第7代目団長佐藤繁一氏勇退
10年	10月1日	弟子屈消防団第8代目団長に林隆雄氏就任 各消防班を消防部に改める
	11月10日	標茶消防署庁舎の住所の名称変更(川上郡標茶町旭4丁目6番2号)
	11月16日	弟子屈消防署に高規格救急自動車を購入し配置(更新)する
	12月22日	弟子屈消防署川湯支署に小型動力ポンプ付水槽車(10,000ℓ)を購入し配置する
8年	2月14日	標茶町阿歴内に小型動力ポンプ付積載車を購入し配置(更新)する
	3月18日	弟子屈消防署に水槽付消防ポンプ自動車(6,000ℓ)を購入し配置する
	4月1日	消防長に大下精氏発令
	9月14日	釧路管内消防団員技能競技大会(釧路市)に標茶消防団優勝(消防自動車ポンプの部)
9年	3月3日	標茶消防署に高規格救急自動車を購入し配置する
	4月1日	川湯消防団に女性消防部を設置する

	7月 1日	弟子屈消防団にラッパ隊を編成する
	8月 7日	弟子屈消防署に広報車を購入し配置する
	8月21日	財団法人日本消防協会から軽積載車の寄贈を受け標茶消防署に配置する
	9月13日	釧路管内消防団員技能競技大会(厚岸町)に標茶消防団優勝(消防自動車ポンプの部)
10年	1月10日	標茶消防署に消防ポンプ自動車を購入し配置する
	5月31日	川湯消防団第5代目団長見澤憲政氏勇退
	6月 1日	川湯消防団第6代目団長に松田勝吉氏就任
	7月30日	北海道消防操法大会に標茶消防団が出場し準優勝(ポンプ車操法の部)
	9月 7日	弟子屈消防署川湯支署に広報車を購入し配置(更新)する
	9月19日	釧路管内消防団員技能競技大会を川湯で開催
11年	5月 1日	組合長に岡田勉氏(弟子屈町長)就任 副組合長に千葉健氏(標茶町長)就任
	5月17日	組合議長に徳永行雄氏(弟子屈町議会議員)を選出
	7月 6日	北海道共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、「J A共済」と命名し標茶消防署に配置する
	9月18日	釧路管内消防団員技能競技大会(音別町)に川湯消防団優勝(小型ポンプの部)及び弟子屈消防団優勝(消防自動車ポンプの部)
12年	4月 1日	消防長に澤頭昇氏発令 弟子屈消防署長に中山十二男氏発令
	9月 9日	釧路管内消防団員技能競技大会(浜中町)で弟子屈消防団優勝(小型ポンプの部)
	10月28日	組合議長に八幡豊行氏(弟子屈町議会議員)を選出
	11月17日	組合長職務代理者に副組合長千葉健氏(標茶町長)就任
	12月25日	組合長に徳永哲雄氏(弟子屈町長)就任
	12月27日	弟子屈消防署川湯支署に水槽付消防ポンプ自動車(3,000ℓ)を購入し配置(更新)する
13年	2月 1日	組合収入役に寺岡清敏氏(弟子屈町収入役)就任
	4月 1日	消防長に館定勝氏発令 弟子屈消防署長に船坂計明氏発令 標茶消防署長に北村久男氏発令
		弟子屈消防団に女性消防部を設置する
	11月22日	弟子屈町美留和に小型動力ポンプ付積載車を購入し配置(更新)する
14年	2月 8日	弟子屈消防団に財団法人日本消防協会から特別表彰「まとい」受賞する
	2月20日	標茶町磯分内に小型動力ポンプ付水槽車(5,000ℓ)を購入し配置する
	2月27日	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け「損害保険号」と命名し弟子屈消防署に配置する
	3月31日	標茶消防団第13代目団長高橋昭寿氏勇退
	4月 1日	標茶消防団第14代目団長に幸坂邦夫氏就任
	9月 7日	釧路管内消防団員技能競技大会を標茶町で開催
15年	4月 1日	消防署(支署)の機構改革(2課7係を2課4係に改変) 副組合長に今西猛氏(標茶町長)就任 組合創設30周年記念式を挙行(標茶町コンベンションホールういず) 標茶駅前大火50周年記念組合総合演習実施(標茶町) 北海道消防操法訓練大会ポンプ自動車の部に川湯消防団出場(江別市) 弟子屈消防署川湯支署に高規格救急自動車を購入し配備
16年	4月 1日	消防長に中山十二男氏発令
	7月 1日	弟子屈消防署長に古屋勝氏発令
	9月11日	第49回釧路管内消防団員技能競技大会(白糠町)で、弟子屈消防団が自動車ポンプの部で準優勝
	11月24日	組合議長に村上政市氏(弟子屈町議会議員)を選出
17年	2月 1日	組合収入役に吉備津民夫氏(弟子屈町助役)就任
	3月 1日	川湯消防団第6代目団長松田勝吉氏勇退
	4月 1日	川湯消防団第7代目団長に濱岡正次氏就任

	9月10日	第50回釧路管内消防団員技能競技大会を弟子屈町で開催し、弟子屈消防団が自動車ポンプの部で優勝、川湯消防団が小型ポンプの部で準優勝
	10月11日	消防広域再編により釧路北部消防事務組合に鶴居村が加入 副組合長に日野浦正志氏(鶴居村長)就任 鶴居消防署署長に山崎達生氏発令 鶴居消防団長に櫻橋敏夫氏発令 組合議会議員13名(弟子屈町5名、標茶町5名、鶴居村3名)となる
	12月15日	鶴居消防署に小型資機材搬送車を購入し配備
18年	3月31日	標茶消防団第14代目団長幸坂邦夫氏勇退
	4月1日	標茶消防団第15代目団長に田中純一氏就任
	7月20日	北海道消防操法訓練大会に弟子屈消防団が出場し準優勝(消防自動車ポンプの部)
	9月9日	副組合長今西 猛氏(標茶町長)死去 第51回釧路管内消防団員技能競技大会(阿寒町)で鶴居消防団が自動車ポンプの部で優勝・小型ポンプの部で優勝、準優勝
	10月1日	消防長に古屋勝氏発令 弟子屈消防署長に葛尾政行氏発令
	10月22日	副組合長に池田裕二氏(標茶町長)就任
19年	2月14日	弟子屈消防署に高規格救急自動車を購入し配備
	2月15日	鶴居消防署に高規格救急自動車を購入し配備
	3月2日	消防庁長官より鶴居消防団が竿頭綬を受章する
	3月26日	救急救命東京研修所第31期研修生卒業式に標茶消防署、高橋行氏が成績優秀により表彰される
	4月1日	組合収入役制度が廃止され、組合会計管理者(弟子屈町)に國岡 有氏就任 標茶消防署長に飯田徹氏発令
	5月1日	組合議会議員9名(各町村3名)となる
	5月25日	組合議長に村上政市氏(弟子屈町議会議員)を選出
	6月1日	北海道消防協会長より鶴居消防団が竿頭綬を受章する
	6月7日	第30回全国消防職員意見発表会に標茶消防署員が全道を代表して出場
	6月16日	釧路川水防公開演習が標茶町で開催される
	8月2日	弟子屈町在住の男性よりAED1台の寄贈を受け、弟子屈消防署に配置する
	9月9日	第52回釧路管内消防団員技能競技大会(厚岸町)で鶴居消防団が自動車ポンプの部で優勝、標茶消防団が準優勝、弟子屈消防団が小型ポンプの部で優勝、鶴居消防団が準優勝
	12月20日	標茶消防署に高規格救急自動車を購入し配備
	12月21日	鶴居村中幌呂に水槽付消防ポンプ自動車(3,500ℓ)を購入し配備
20年	3月7日	消防庁長官表彰において川湯消防団が竿頭綬を受章する
	4月1日	会計管理者に村田英雄氏(弟子屈町)就任
	4月25日	全道消防職員意見発表会に標茶消防署員が道東地区を代表して出場
	5月26日	川湯ライオンズクラブより軽四トラック1台の寄贈を受け、川湯支署に配置する
	9月6日	北海道消防協会長より川湯消防団が表彰旗を受章する
	9月13日	第53回釧路管内消防団員技能競技大会を弟子屈町川湯で開催し、鶴居消防団が小型ポンプの部で準優勝
	12月4日	組合議長に風祭保夫氏(弟子屈町議会議員)を選出
	12月19日	鶴居消防新庁舎竣工
21年	2月26日	釧路北部消防事務組合消防職員定数条例が改正され鶴居消防署が13名体制となり、期限付きで弟子屈消防署19名、川湯支署15名となり、組合定数が78名となる
	3月6日	消防庁長官表彰において標茶消防団が竿頭綬を受章する
	4月1日	消防長に館郁男氏発令
	6月5日	第61回北海道消防大会において、北海道消防協会長より鶴居消防団が表彰旗を受章する

	9月12日	第54回釧路管内消防団員技能競技大会(釧路市)小型ポンプの部で弟子屈消防団優勝、鶴居消防団準優勝
	9月30日	弟子屈消防団第8代目団長林隆雄氏勇退
	10月1日	弟子屈消防団第9代目団長に藤田茂氏就任
	10月5日	道東ドクターヘリの運航が開始される
22年	2月2日	標茶消防署に小型動力ポンプ付水槽車(9,500ℓ)を購入し配備
	4月1日	弟子屈消防署長に西川進氏発令 会計管理者に高橋進氏(弟子屈町)就任
	4月23日	全道消防職員意見発表会に標茶消防署員が道東地区を代表して出場
	8月31日	釧路北部消防事務組合消防職員定数条例が改正され鶴居消防署が14名体制となり、組合定数が79名となる
	9月11日	第55回釧路管内消防団員技能競技大会(釧路市)小型ポンプの部で弟子屈消防団が優勝、自動車ポンプの部で標茶消防団が優勝
	12月24日	弟子屈消防署川湯支署に屈折はしご(25m級)付消防ポンプ自動車を購入し配備
23年	1月14日	標茶消防団員より標茶消防団費として役立ててほしいと寄付金の申し出があり受納する
	2月25日	釧路北部消防事務組合消防職員定数条例が改正され、弟子屈消防署18名、川湯支署14名となり、組合定数が77名となる
	3月22日	東日本大震災に伴い緊急消防援助隊第4次北海道隊として標茶消防署員1名を宮城県石巻市に派遣する
	4月9日	東日本大震災に伴い緊急消防援助隊第9次北海道隊として消防本部職員1名、弟子屈消防署員1名、標茶消防署員3名の計5名を宮城県石巻市に派遣する
	4月22日	全道消防職員意見発表会に標茶消防署員が道東地区を代表して出場
	7月14日	北海道消防操法訓練大会に釧路管内を代表し鶴居消防団が出場
	8月25日	釧路北部消防事務組合消防職員定数条例が改正され期限付きで標茶消防署が25名体制となり、組合定数が78名となる
	9月17日	第56回釧路管内消防団員技能競技大会(釧路市)で標茶消防団が自動車ポンプの部で優勝、小型ポンプの部で準優勝
	12月15日	鶴居消防署に広報車を購入し配備
24年	2月28日	釧路北部消防事務組合消防団員定数条例が改正され、鶴居消防団副団長2名、鶴居消防団員が43名となる
	3月22日	平成23年12月29日に川湯駅前で発生した住宅火災において、一人暮らしの高齢者を救出した功労に対し、川湯駅前在住の武山秀樹氏に感謝状を贈呈
	5月20日	副組合長に大石正行氏(鶴居村長)就任
	7月12日	第41回全道救助技術訓練指導会に弟子屈消防署員4名出場
	7月19日	北海道消防操法訓練大会に釧路管内を代表し標茶消防団が出場
	9月15日	第57回釧路管内消防団員技能競技大会(釧路市)で標茶消防団が自動車ポンプの部で準優勝
	11月30日	組合議長に館忠良氏(弟子屈町議会議員)を選出
	12月3日	弟子屈消防署に小型動力ポンプ付水槽車(10,000ℓ)を購入し配備
25年	4月1日	消防長に熊谷英二氏発令 鶴居消防署長に高田勝也氏発令
	5月12日	組合創設40周年記念式典を挙(摩周観光文化センター)
	8月29日	釧路北部消防事務組合消防職員定数が改正され、弟子屈消防署が19名体制となり、組合定数が79名となる
	9月14日	第58回釧路管内消防団員技能競技大会(釧路市)小型ポンプの部で鶴居消防団が優勝、消防ポンプ自動車の部で鶴居消防団が準優勝
	10月11日	平成25年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練(苫小牧市)に標茶消防署員5名が参加
	10月18日	平成25年10月5日に標茶町で発生した住宅火災において、一人暮らしの高齢者を救出した功労に対し、標茶町在住の阪口康裕氏に感謝状を贈呈

1	1月21日	北海道消防表彰式において鶴居消防団が表彰旗を受章する
1	1月24日	消防団 120 周年・自治体消防 65 周年記念大会(東京ドーム)
26年	1月7日	平成 25 年 12 月 17 日に弟子屈町で発生した住宅火災において、一人暮らしの高齢者を救出した功勞に対し、弟子屈町在住の石川裕氏に感謝状を贈呈
	3月20日	消防救急デジタル無線運用開始
	4月1日	消防長に松田孝之氏発令 弟子屈消防署長に鏡信雄氏発令 鶴居消防団に下幌呂消防部、女性消防部を設置する
	5月23日	釧路北部消防事務組合消防職員定数が改正され、弟子屈消防署が 18 名体制となり、組合定数が 78 名となる
	7月14日	釧路北部消防事務組合議会議員行政視察研修で宮城県・岩手県を視察
	9月13日	第 59 回釧路管内消防団員技能競技大会(釧路市)消防ポンプ自動車の部で鶴居消防団が優勝
	10月22日	平成 26 年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練(弘前市)に弟子屈消防署員 1 名、鶴居消防署員 1 名の計 2 名が参加
	12月25日	総務省消防庁より救助資機材搭載型小型動力ポンプ積載車が無償貸付され鶴居消防団に配備
27年	3月20日	北海道共済農業協同組合連合会から高規格救急自動車の寄贈を受け、標茶消防署に配備する
	4月1日	消防長に菅井憲昭氏発令 標茶消防署長に田中善志氏発令
	7月18日	第 44 回全道消防救助技術訓練指導会に標茶消防署員 4 名、鶴居消防署員 3 名が出場
	9月12日	第 60 回釧路管内消防団員技能競技大会(釧路市)小型ポンプの部で鶴居消防団が優勝、消防ポンプ自動車の部で標茶消防団が優勝、準優勝
	9月24日	弟子屈消防署川湯支署に消防ポンプ自動車を購入し配備
	11月22日	鶴居村下幌呂に部詰所を新築、消防ポンプ自動車を配置する
28年	4月19日	全道消防職員意見発表会に標茶消防署員が道東地区を代表して出場
	7月15日	北海道消防操法訓練大会に釧路管内を代表し川湯消防団が出場
	7月16日	第 45 回全道消防救助技術訓練指導会に標茶消防署員 5 名、鶴居消防署員 4 名が出場し、鶴居消防署員が知事賞(ロープブリッジ渡過の部)を受賞
	8月24日	第 45 回全国消防救助技術大会(松山市)に標茶消防署員 1 名(はしご登はん)、鶴居消防署員 1 名(ロープブリッジ渡過)が出場
	9月10日	第 61 回釧路管内消防団員技能競技大会(釧路市)小型ポンプの部で川湯消防団が優勝、消防ポンプ自動車の部で標茶消防団が準優勝
	11月30日	釧路北部消防事務組合消防職員定数が改正され、標茶消防署が 26 名体制となり、組合定数が 79 名となる
29年	6月17日	釧路川水防公開演習が標茶町で開催される
	7月13日	釧路北部消防事務組合消防本部及び弟子屈消防署を川上郡弟子屈町美里 3 丁目 8 番 1 号へ新築移転し運用開始
	7月15日	第 46 回全道消防救助技術訓練指導会に標茶消防署員 3 名、鶴居消防署員 4 名が出場
	8月25日	第 69 回北海道消防大会が弟子屈町で開催される
	9月9日	第 62 回釧路管内消防団員技能競技大会(釧路市)小型ポンプの部で弟子屈消防団が優勝、準優勝、自動車ポンプの部で鶴居消防団が準優勝
	10月6日	平成 29 年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練(米沢市)に本部職員 1 名、標茶消防署員 1 名の計 2 名が参加
	10月12日	北海道共済農業協同組合連合会から高規格救急自動車の寄贈を受け、鶴居消防署に配備する
	11月22日	緊急消防援助隊設備整備費補助事業にて高規格救急自動車を購入し、弟子屈消防署に配備する
30年	3月22日	釧路北部消防事務組合消防職員定数が改正され、鶴居消防署が 15 名体制となり組合定数が 80 名となる

	7月21日	第47回全道消防救助技術指導会に鶴居消防署員4名が出場
	9月30日	鶴居消防団第10代目団長櫻橋敏夫氏勇退
	10月1日	鶴居消防団第11代目団長に松井廣道氏就任
	10月22日	副組合長に佐藤吉彦氏(標茶町長)就任
	12月13日	標茶消防署に指令車を購入し配備
31年	1月7日	緊急消防援助隊設備整備費補助事業にて水槽車(10,000ℓ)を購入し、鶴居消防署に配備する
	3月6日	消防庁長官表彰にて、標茶消防団・鶴居消防団が表彰旗を受章する
	3月28日	緊急消防援助隊設備整備費補助事業にて先攻車(5,000ℓ)を購入し、標茶消防署に配備する
	3月31日	川湯消防団第7代目団長濱岡正次氏勇退
	4月1日	川湯消防団第8代目団長に不動繁雄氏就任
令和元年	7月16日	弟子屈消防署に水難救助艇を購入(更新)し配備
	7月19日	北海道消防操法訓練大会に釧路管内代表として弟子屈消防団が出場し準優勝
	7月20日	第48回全道消防救助技術指導会に鶴居消防署員4名が出場
	9月14日	第64回釧路管内消防団員技能競技大会(釧路市)小型ポンプの部で鶴居消防団が優勝、自動車ポンプの部で鶴居消防団が準優勝
	10月21日	弟子屈消防団・川湯消防団にそれぞれ配備していた消防団輸送車を1台とし、購入(更新)し弟子屈消防署に配備する
	12月5日	公益財団法人日本消防協会から消防団活動車の寄贈を受け、弟子屈消防署に配備する
	12月19日	令和元年11月22日に弟子屈町で発生した屈斜路湖の水難事故において、三名を救助した功勞に対し、弟子屈町川湯在住の祖父江健一氏に感謝状を贈呈
令和2年	4月1日	消防長に越善忍氏発令 鶴居消防署長に川村公基氏発令
	4月7日	政府より全国に新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発令される
	5月6日	緊急事態措置期間終了
令和3年	2月25日	釧路北部消防事務組合消防職員定数が改正され、鶴居消防署が16名体制となり組合定数が81名となる
	3月19日	弟子屈消防署に指令車を購入し配備
	3月28日	弟子屈町消防団統合式(弟子屈消防団と川湯消防団が統合する)
	4月1日	弟子屈町消防団発足 初代団長に藤田茂氏就任 消防長に鈴木浩氏発令 弟子屈消防署長に池田保士氏発令 標茶消防署長に嶽義明氏発令
	4月12日	無人航空機(ドローン)を配備
	6月2日	株式会社佐々木建設から消防機材運搬車の寄贈を受け鶴居消防署に配備する
	6月3日	令和3年3月31日に発生したマンホール転落事故の救助功勞により弟子屈郵便局員の前田凌雅氏、弟子屈町在住の木村和史氏に感謝状を贈呈
	7月13日	消防本部に指令車を購入(更新)し配備
	10月21日	通信指令室共同化による運用を開始
	10月22日	標茶消防署に水難救助艇を購入(更新)し配備
	11月13日	令和3年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練(釧路市開催)に救急隊1隊、支援隊1隊参加
令和4年	3月4日	日本消防協会長より鶴居消防団が竿頭綬を受章する

2 弟子屈消防（釧路北部消防事務組合設立前）

大正	13年	3月	北海道庁令第40号により公設弟子屈消防組が認可され腕用ポンプ1台配置 初代組頭に斉藤昇氏外小頭2名消防手27名を以って発足した
	15年	3月	北海道庁令第19号により消防手5名増員され消防ポンプ自動車1台購入配置した
昭和	2年	1月	北海道庁令第2号により小頭1名増員された
	3年	5月	北海道庁令第43号により消防手5名増員された
	4年	6月	北海道庁警察部長より金馬廉1条の使用を認可せられる
	5年		旧番屋を村役場に移転する
	11年	10月	陸軍特別大演習並びに地方行幸による警備に対し北海道長官より感謝状を授与された
	12年	10月	消防詰所を弟子屈町字弟子屈190番地に新築
	14年	4月	警防団令の制定により川湯消防組を統合し弟子屈警防団に改組し、2分団制とする 初代警防団長に斉藤昇氏就任
		6月	第2代目警防団長に本山時宜三氏就任
		8月	第3代目警防団長に池田信盛氏就任
	16年	9月	消防ポンプ自動車1台購入弟子屈分団に配置
	17年	9月	消防ポンプ自動車1台購入川湯分団に配置
	22年	8月	消防団令の公布により、弟子屈消防団と川湯消防団に改組する
	24年	8月	第4代目消防団長に国岡豊一氏就任
	29年	8月	水そう付消防ポンプ自動車(2,000ℓ)1台購入
	31年	4月	第5代目消防団長に野田口徳蔵氏就任
		9月	消防車購入の援助として長期計画のもとに10町歩の消防植林を造成
	32年	10月	水道事業の認可により消火栓25基設置
	37年	3月	弟子屈小学校火災の延焼防止の功績により日本消防協会長より竿頭綬を授けられる
		9月	可搬式小型動力ポンプ1台購入
	38年	9月	可搬式小型動力ポンプ1台購入
		12月	水そう付消防ポンプ自動車(2,500ℓ)1台購入
	40年	5月	消防ポンプ自動車1台購入
	42年	7月	弟子屈中央電器株式会社より可搬式小型動力ポンプ1台寄贈される
	43年	9月	北海道消防協会より優良消防団として表彰旗を授与される
	44年	9月	可搬式小型動力ポンプ1台購入
	45年	1月	弟子屈消防団新庁舎落成
	46年	12月	第6代目消防団長に古屋利八氏就任
			水そう付消防ポンプ自動車(2,500ℓ)1台購入
	47年	1月	摩周工産株式会社より指令車1台寄贈される

3 川湯消防（釧路北部消防事務組合設立前）

昭和	7年	12月 9年	川湯地区に消防組を設立し、初代組頭五月女十次郎氏以下30名を以って設立する 消防番屋新築
			川湯市街に特設電話が開通する
	10年	10月	消防ポンプ自動車1台配備する
	14年	4月	川湯消防組は「警防団令」の施行に伴い「弟子屈警防団川湯分団」となる
	16年	8月	消防ポンプ自動車1台配備する
	21年	8月	弟子屈警防団より分かれ「川湯警防団」となり、2代目警防団長に宇山久観氏就任
	22年	10月	消防団令の一部改正により「川湯警防団」から「川湯消防団」に改める
	23年	5月	川湯市街大火により消防番屋焼失
	25年	2月	第3代目消防団長根津文男氏就任
		10月	消防番屋、車庫を新築する
	28年	10月	消防番屋横にサイレンを設置する
	29年	10月	常備消防団員1名配置する

30年11月	防火水槽2基設置する
31年11月	小型動力ポンプ(芝浦式)1台配置する
33年12月	消防ポンプ自動車1台配置する
37年9月	水道事業開始により川湯市街地に消火栓10基設置する
39年12月	水そう付消防ポンプ自動車1台配置する
40年4月	常備消防団員増員されて2名体制となる
42年8月	小型動力ポンプ(芝浦式)1台配置する
11月	北海道知事より優良消防団として竿頭綬を授与される
43年12月	国有地に消防庁舎、弟子屈町役場支所との合同庁舎落成する ダイヤル式電話になり、消防専用電話119番を設置する
44年9月	常備消防団員増員されて3名体制となる
45年9月	釧路管内消防団員技能競技大会にて自動車ポンプの部で優勝する 小型動力ポンプ(ラビット)1台配置する 釧路管内消防団員技能競技大会にて自動車ポンプの部で優勝する
10月	川湯市街地に消火栓2基設置する
11月	川湯市街地に防火水槽2基設置する
46年4月	御園ホテル株式会社より指揮車1台寄贈
9月	川湯市街地に消火栓2基設置する
11月	川湯市街地に防火水槽2基設置する
47年9月	水そう付消防ポンプ自動車1台配置する

4 標茶消防 (釧路北部消防事務組合設立前)

明治21年	義勇消防隊発足(島田清兵衛氏)
25年	私設消防隊として発足
32年	勅令消防組規則により熊牛消防組公設、初代組頭に島田清兵衛氏就任 龍吐水1台購入
43年6月	第2代目組頭に木下堅三氏就任
45年	ドイツ式腕用ポンプ1台購入(300円の基金を得る)
大正3年9月	第3代目組頭に鈴木操氏就任
9年8月	大水害(釧路川のはんらん)
14年5月	第4代目組頭に森下辰蔵氏就任となったが後半の約1年間は三本氏、北浦氏両 小頭がこれを代理した
昭和4年2月	第5代目組頭に木下堅三氏就任、消防番屋を設置
5年	腕用ポンプ1台増設
10年6月	第6代目組頭に北村休二郎氏就任
7月	タービン式消防ポンプ自動車1台購入
11月	消防ポンプ自動車(中古車)1台購入
14年	組織改革により標茶、磯分内、塘路に分団創設
15年	警防団本部を標茶に設け、組頭を警防団長と改称
17年5月	第7代目警防団長に千葉軍治氏就任、副団長制を創設中村次男氏を任命
20年7月	標茶市街空襲により鉄道官舎等に被害あり 組織改革により警防団を消防団と改める
22年5月	千葉消防団長が村長選挙出馬、第8代目消防団長に中村次男氏就任、副団長に 酒井道太郎氏を推薦
23年	木村式腕用ポンプ1台購入
12月	第9代目消防団長に酒井道太郎氏就任、副団長に三本仙一郎氏推挙
25年	タービン式消防ポンプ自動車1台購入
28年5月	標茶市街大火102世帯り災
34年	消防団本部庁舎新築、消防会館設置
35年4月	酒井消防団長退団、第10代目消防団長に三本仙一郎氏就任 団組織強化のため副団長を複数化千葉実氏、森山光太郎氏、島崎清二氏の3人 を選任

35年 4月	消防団本部を常備化、常備団員3人配置 (常備団員26年10月1名、31年2月1名、35年6月1名)
40年	厚岸信用金庫より消防ポンプ自動車1台寄贈(信金号)
44年	役場より消防事務移管
46年	米沢歯科医院より救急車1台寄贈(よねざわ号)
47年	標茶市街上水道布設により消防用消火栓38基新設
48年	千葉実副団長依願退職、千葉義一氏を副団長に任命

5 鶴居消防 (釧路北部消防事務組合加入前)

昭和14年	鶴居村警防団団長保田諒庵氏就任
22年	鶴居警防団が鶴居村消防団となる (団長1名・副団長1名・部長10名・(10班)団員28名(車付腕用ポンプ配置))
30年 4月 1日	鶴居村消防団組織変更により2分団となる 第1分団、分団長以下24名(鶴居市街)・第2分団、分団長以下14名(中幌呂)
32年 3月31日	第1分団に小型動力ポンプ1台を配置(ラビット)
39年 8月	第2分団に小型動力ポンプ1台を配置(シバウラ)
10月	第1分団にポンプ車を配置(トヨタ)
12月 1日	第3分団設置発足 分団長以下12名(上幌呂)
41年 7月	第3分団に小型動力ポンプ1台を配置
42年 9月14日	第2分団にポンプ車を配置(日産)
45年10月	第3分団に小型動力ポンプ1台を配置(ラビット)
46年 6月	第1・4分団用として小型動力ポンプ2台購入
7月	第4分団詰所新築(32㎡)
8月24日	第4分団設置発足 分団長以下8名(下久著呂)
49年 3月31日	第1分団にポンプ車を配置(日産)(佐々木建設寄贈)
4月 1日	釧路西部消防組合発足に伴い鶴居村消防団を鶴居消防団に改称
9月	第19回管内技能競技大会小型ポンプの部準優勝
50年10月	第2分団庁舎新築(216㎡)
12月23日	第1分団にタンク車を配置(三菱、2,000ℓ)(佐々木建設寄贈)
52年 7月	小型動力ポンプ1台購入
53年 9月14日	第2・3回管内技能競技大会小型ポンプの部準優勝
9月30日	鶴居消防団長堀口貞雄氏退任
10月 1日	後任団長に三浦菊治氏昇格
12月14日	タンク車購入(日野3,000ℓ)
55年 1月 1日	副団長に第1分団長和田歳八氏が昇格
12月	第4分団車庫新築(22㎡)
56年 9月19日	第26回管内技能競技大会小型ポンプの部準優勝
59年 6月	第3分団庁舎増改築(104㎡)
61年 9月	第31回管内技能競技大会小型ポンプの部準優勝
62年 9月	第32回管内技能競技大会小型ポンプの部優勝
63年 9月	第33回管内技能競技大会小型ポンプの部準優勝
11月	北海道知事より竿頭授受章
平成 元年12月	第2分団に小型動力ポンプ積載車配置(イスズ、4WD)
2年 9月30日	副団長和田歳八氏退任
10月 1日	後任副団長に第1分団長平田 清氏昇格
3年 2月	第3分団にタンク車配置(日野、2,000ℓ)
4年 9月	第37回管内技能競技大会小型ポンプの部準優勝
10月	第4分団詰所新築(木造平屋80,19㎡)
5年 3月10日	副団長平田清氏退任
4月 1日	後任副団長に第1分団長櫻橋敏夫氏昇格
11月	第2分団詰所新築(木造一部鉄筋平屋建189.00㎡)

7年12月	第3分団詰所新築(木造一部鉄筋平屋建 159.84 m ²)
8年7月	北海道消防操法訓練大会小型ポンプの部に第1分団出場
9月	第41回管内技能競技大会小型ポンプの部準優勝
12月	第1分団にタンク車を配置(ニッサン 3,000ℓ)
9年9月	第42回管内技能競技大会小型ポンプの部準優勝
10年2月	第4分団に小型動力ポンプ積載車を配置(三菱、4WD)
9月	第43回管内技能競技大会小型ポンプの部優勝
9月30日	鶴居消防団長三浦菊治氏退任
10月1日	後任団長に副団長櫻橋敏夫氏昇格
	後任副団長に第2分団長伊藤 力氏昇格
12年9月	第45回管内技能競技大会自動車ポンプの部優勝
13年9月	第46回管内技能競技大会自動車ポンプの部優勝、小型ポンプの部準優勝
14年9月	第47回管内技能競技大会自動車ポンプの部及び小型ポンプの部優勝
9月30日	鶴居消防団副団長伊藤 力氏退任
10月1日	後任副団長に第1分団長久保田欣史氏昇格
15年9月6日	第48回管内技能競技大会自動車ポンプの部優勝、小型ポンプの部準優勝
16年9月11日	第49回管内技能競技大会小型ポンプの部優勝及び準優勝
17年2月16日	鶴居消防団副団長長久保田欣史氏退任
4月1日	後任副団長に第2分団長山口紘美氏昇格
9月10日	第50回管内技能競技大会小型ポンプの部優勝
10月10日	釧路西部消防組合解散になる

總 務 編

令和2年度決算額及び令和3年度当初予算額

歳 入

(単位：千円)

款	項	令和2年度決算額	令和3年度当初予算額
1. 分担金及び負担金	1. 負 担 金	806,395	882,559
2. 使用料及び手数料		466	210
	1. 使 用 料	0	0
	2. 手 数 料	466	210
3. 国庫支出金	1. 国庫補助金	0	0
4. 道支出金	1. 道補助金	1,940	1,940
5. 財産収入	1. 財産運用収入	2,018	2,065
6. 繰越金	1. 繰越金	11,277	300
7. 諸収入		1,499	4,103
	1. 組合預金利子	0	3
	2. 雑 入	1,499	4,100
8. 組合債	1. 組 合 債	0	0
歳 入 合 計		823,595	891,177

歳 出

(単位：千円)

款	項	令和2年度決算額	令和3年度当初予算額
1. 議会費	1. 議 会 費	520	586
2. 総務費		77,954	127,472
	1. 総務管理費	77,596	126,466
	2. 監査委員費	358	1,006
3. 消防費		693,896	718,557
	1. 常備消防費	625,310	656,735
	2. 非常備消防費	41,333	54,899
	3. 消防施設費	27,253	6,923
4. 公債費	1. 公 債 費	36,167	44,262
5. 予備費	1. 予 備 費	0	300
歳 出 合 計		808,537	891,177

令和3年度普通建設事業調（令和3年12月末現在）

（単位：千円）

事業名	事業費	内容・規格等	配置（配備）場所
指令車購入事業	3,778	指令車購入	消防本部
組合内通信業務共同化システム統合事業	37,964	消防統合型通信指令システム署所共同化	弟子屈消防署・川湯支署 標茶消防署・鶴居消防署
無人航空機（組合共同運用）事業	1,093	無人航空機購入	消防本部
消防団員安全装備品更新事業	3,723	消防団員用装備品購入（120着） ①活動服上下（新基準） ②アポロキャップ	弟子屈町消防団
空気呼吸器用高圧容器購入事業	2,614	空気呼吸器用高圧容器購入（12本） （石油貯蔵施設立地対策交付金事業）	鶴居消防署
計	49,172		

令和2年度普通建設事業費調（決算）

（単位：千円）

事業名	事業費	規格等	配置（配備）場所
指令車購入事業	5,976	ハイエース（バンタイプ）購入	弟子屈消防署
弟子屈町消防団旗購入事業	733	弟子屈消防団と川湯消防団の統合に伴い団旗購入	弟子屈町消防団
救急資器材購入事業	3,003	半自動式除細動器一式購入	標茶消防署
開運地区消火栓新設工事	1,274	消火栓新設工事（地上式単口消火栓）	標茶町開運3丁目100番地
麻生地区消火栓新設工事	1,352	消火栓新設工事（地上式単口消火栓）	標茶町麻生9丁目104番地
鶴居消防署車庫設置工事	6,050	車庫新設工事（3台用）	鶴居消防署
鶴居消防署庁舎外壁補修工事	2,310	外壁のシーリング打換え、補修工事	鶴居消防署
ミニホイールローダー購入事業	2,750	除雪用ミニホイールローダー（コベルコ）購入	鶴居消防署
消防団安全装備品購入事業	4,558	防火衣一式購入（37着）	鶴居消防団
計	28,006		

人 口 ・ 世 帯 数 及 び 面 積

年 別	地 域	面 積	世 帯 数	人 口			附 記
				男	女	計	
令和3年 12月31日 現 在	弟子屈町	774.33km ²	3,814 世帯	3,288 名	3,552 名	6,840 名	住民基本台帳
	標茶町	1,099.37km ²	3,642 世帯	3,511 名	3,775 名	7,286 名	
	鶴居村	571.80km ²	1,195 世帯	1,244 名	1,237 名	2,481 名	
	計	2,445.50km ²	8,651 世帯	8,043 名	8,564 名	16,607 名	

消 防 本 部 ・ 消 防 署 人 員 配 置 状 況

(令和3年12月末現在)

区 分		司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	事務職員	計
消 防 本 部	消 防 長	1							1
	総 務 課			2				1	3
	消 防 課		2	1					3
	小 計	1	2	3				1	7
消 防 署	弟子屈消防署		5	10	4	5	7		31
	標茶消防署		6	8	2	3	7		26
	鶴居消防署		4	4	2	2	4		16
	小 計		15	22	8	10	18		73
合 計		1	17	25	8	10	18	1	80

職 員 勤 続 状 況

(令和3年12月末現在)

区 分	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務職員	計
1 年 未 満						4		4
1年以上～5年未満						11		11
5 年 " ～ 10 年 "				1	8	3		12
10 年 " ～ 15 年 "			2	7	2			11
15 年 " ～ 20 年 "			10					10
20 年 " ～ 25 年 "		4	10					14
25 年 " ～ 30 年 "		8	2					10
30 年 以 上	1	5	1				1	8
計	1	17	25	8	10	18	1	80

職 員 年 令 別 状 況

(令和3年12月末現在)

区 分	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務職員	計
20 歳 未 満						2		2
20歳以上～25歳未満						12		12
25 歳 " ～ 30 歳 "					9	4		13
30 歳 " ～ 35 歳 "				5	1			6
35 歳 " ～ 40 歳 "			9	3				12
40 歳 " ～ 45 歳 "		2	12					14
45 歳 " ～ 50 歳 "		7	3					10
50 歳 " ～ 55 歳 "		4						4
55 歳 以 上	1	4	1				1	7
計	1	17	25	8	10	18	1	80

職 員 教 育 状 況

(令和3年12月末現在)

区 分	職員数	初 任 教 育	専 科											
			幹部	予防 査 察	火災 調 査	危 険 物	救 急					警 防	救 助	都 市 型 救 助
							I 課 程	II 課 程	機 準 課 程	救 急 科	救 命 士			
消 防 本 部	7	6		1	2			3	3		5		2	
弟 子 屈 消 防 署	31	31		2	7	3		1	4	8	18	2	8	
標 茶 消 防 署	26	26		3	3	1	4	4	6	11	12	1	9	1
鶴 居 消 防 署	16	16	3	1	3	2	5	3	3	4	10	4	5	2
計	80	79	3	7	15	6	9	11	16	23	45	7	24	3

消 防 団 員 人 員 配 置 状 況

(令和3年12月末現在)

階 級 団 名	団 長			副 団 長			分 団 長			副 分 団 長			部 長			班 長			団 員			計	合 計					
	弟 子	標	鶴	弟 子	標	鶴	弟 子	標	鶴	弟 子	標	鶴	弟 子	標	鶴	弟 子	標	鶴	弟 子	標	鶴			弟 子	標	鶴		
	町	茶	居	町	茶	居	町	茶	居	町	茶	居	町	茶	居	町	茶	居	町	茶	居			町	茶	居		
団 本 部	1	1	1	3	3	2																			4	4	3	11
女 性 消 防 部													2	1	1	2	3	2	7	6	5	11	10	8	29			
第 1 分 団							1	1	1	1	1	1	3	3	2	7	5	4	8	5	18	20	15	26	61			
川 湯 第 1 分 団							1			1			4			3			7			16			16			
茶 安 別 消 防 部													1			3			5			9			9			
下 幌 呂 消 防 部														1			1		7			9			9			
第 2 分 団							1	1	1	1	1	1	3	3	2	6	5	3	9	6	8	20	16	15	51			
川 湯 第 2 分 団							1			1			4			2			4			12			12			
久 著 呂 消 防 部													1			3			3			7			7			
第 3 分 団								1	1		1	1	3	1		5	2		5	4		15	9		24			
美 留 和 消 防 部							1						1			1			5			8			8			
屈 斜 路 消 防 部										1			1			1			7			10			10			
第 4 分 団								1	1		1	1	2	1		3	2		3	6		10	11		21			
阿 歷 内 消 防 部													1			3			5			9			9			
第 5 分 団								1			1		3			5			5			15			15			
実 数	1	1	1	3	3	2	5	5	4	5	5	4	18	18	8	22	35	14	47	43	48	101	110	81	292			
定 員	1	1	1	3	3	2	5	5	4	5	5	4	19	18	8	28	35	15	83	71	57	144	138	91	373			

消 防 団 員 勤 続 年 数 別 状 況

(令和3年12月末現在)

階 級 年 数	団 長			副 団 長			分 団 長			副 分 団 長			部 長			班 長			団 員			計	合 計			
	弟 子	標	鶴	弟 子	標	鶴	弟 子	標	鶴	弟 子	標	鶴	弟 子	標	鶴	弟 子	標	鶴	弟 子	標	鶴			弟 子	標	鶴
	町	茶	居	町	茶	居	町	茶	居	町	茶	居	町	茶	居	町	茶	居	町	茶	居			町	茶	居
1 年 未 満																			5	2	2	5	2	2	9	
1年以上～5年未満																			8	12	8	8	12	8	28	
5年〃～10年〃													1	2	1	3	12	12	16	14	13	20	47			
10年〃～15年〃										1				4	12		12	7	7	16	19	8	43			
15年〃～20年〃								1		1			1	1	4	8	2	5	3	8	9	12	13	34		
20年〃～25年〃								1		1			6	6	2	4	6	2	3	4	3	13	17	8	38	
25年〃～30年〃						1				1	1		1	4	2	2	4	1	1	2	1	5	10	6	21	
30年〃～35年〃							1	1	1	1	4		3	4	1	5	1	1				10	10	3	23	
35 年 以 上	1	1	1	3	3	1	4	4	1	3		1	8	3	1	1	3	5	1	1	3	21	15	13	49	
計	1	1	1	3	3	2	5	5	4	5	5	4	18	18	8	22	35	14	47	43	48	101	110	81	292	

消防団員階級別職業別状況

(令和3年12月末現在)

階級	団名	農	林	建	製	電	運	卸	金	飲	医	教	サ	団	公	無	そ	計	営	被	
		業	業	業	造	気・ガス業	輸	小売業	融・保険業	食・宿泊業	療・福祉業	育・学習業	ービス業	体職員	務員	職	他				者
団長	弟子屈																1	1	1		
	標茶							1											1	1	
	鶴居													1					1	1	
副団長	弟子屈				1			1					1						3	3	
	標茶			1				1					1						3	3	
	鶴居												1	1					2	2	
分団長	弟子屈							1	1				3						5	1	4
	標茶	2		2	1														5	4	1
	鶴居	2		1									1						4	2	2
副分団長	弟子屈	1			2			2											5	3	2
	標茶	1		3									1						5	3	2
	鶴居	3					1												4	3	1
部長	弟子屈	3	3	1	2	2		1	1	1	1		3						18	5	13
	標茶	9		3				1		1	1		2					1	18	12	6
	鶴居	4											1	2	1				8	3	5
班長	弟子屈	4	1	1	2	4		1	1	3			4	1					22	9	13
	標茶	17		1	1		2	1			1		10		2				35	15	20
	鶴居	7		1									1	3	1	1			14	7	6
団員	弟子屈	8		4	3	2		8		5	3		8	4	1	1			47	15	31
	標茶	20		2				2		1	7		9	1		1			43	5	37
	鶴居	16		5						2	2		1	11	7	4			48	5	39
計	弟子屈	16	4	6	10	8		14	2	10	4		19	5	1	1	1	101	34	66	
	標茶	49		12	2		3	5		2	9		23	1	2	1	1	110	43	66	
	鶴居	32		7			1			2	2		5	17	10	5		81	20	47	
合計		97	4	25	12	8	4	19	2	14	15		47	23	13	7	2	292	97	179	

消 防 職 ・ 団 員 及 び 消 防 自 動 車 単 位 当 たり 数

区 分		職員 1 人 当り				団員 1 人 当り				消防車 1 台 当り			
		職員数 (人)	面 積 (km ²)	世 帯 (世帯)	人 口 (人)	団員数 (人)	面 積 (km ²)	世 帯 (世帯)	人 口 (人)	車両数 (台)	面 積 (km ²)	世 帯 (世帯)	人 口 (人)
平成 24 年 末	弟 子 屈	32	24	124	253	125	6	32	65	13	60	279	623
	標 茶	25	44	145	331	129	9	28	64	11	100	330	753
	鶴 居	14	38	71	168	67	9	16	38	7	82	152	360
	組 合	79	35	113	251	321	8	25	56	31	81	254	579
平成 25 年 末	弟 子 屈	33	23	121	243	119	7	33	67	13	60	306	617
	標 茶	25	44	157	324	124	9	32	65	11	100	356	737
	鶴 居	13	44	83	194	70	8	15	36	7	82	155	361
	組 合	78	37	120	254	313	8	27	56	31	80	272	572
平成 26 年 末	弟 子 屈	32	24	124	246	117	7	34	67	11	70	360	716
	標 茶	25	44	145	320	126	9	29	64	11	100	331	728
	鶴 居	14	41	78	180	82	7	13	31	8	71	137	315
	組 合	78	36	116	249	325	8	25	54	30	81	276	586
平成 27 年 末	弟 子 屈	31	25	128	251	118	7	34	66	11	70	360	706
	標 茶	25	44	146	317	123	9	30	64	11	100	332	721
	鶴 居	14	41	78	178	83	7	12	30	8	64	122	277
	組 合	77	37	117	249	324	7	25	53	31	78	271	568
平成 28 年 末	弟 子 屈	32	24	123	238	117	7	34	65	11	70	359	692
	標 茶	24	46	153	326	124	9	30	63	11	100	333	711
	鶴 居	14	41	81	180	83	7	14	30	9	64	126	281
	組 合	77	37	119	248	324	7	26	53	31	78	273	561
平成 29 年 末	弟 子 屈	32	24	122	232	117	7	33	64	11	70	356	676
	標 茶	26	42	141	297	125	9	29	62	11	100	334	702
	鶴 居	14	41	82	181	82	7	14	31	9	64	127	282
	組 合	78	36	115	237	324	7	26	52	31	78	272	553
平成 30 年 末	弟 子 屈	31	25	123	234	117	7	33	62	11	70	347	660
	標 茶	26	42	141	293	120	9	30	63	11	100	333	692
	鶴 居	15	38	77	169	81	7	14	31	9	64	129	282
	組 合	78	35	114	232	318	8	26	52	31	78	269	544
令 和 元 年 末	弟 子 屈	31	25	124	229	110	7	35	65	10	77	384	710
	標 茶	25	44	146	300	121	9	30	62	11	100	331	682
	鶴 居	15	38	79	167	79	7	15	32	9	64	131	279
	組 合	78	36	116	232	310	8	27	53	30	80	282	557
令 和 2 年 末	弟 子 屈	32	24	120	222	103	8	37	69	10	77	384	710
	標 茶	26	42	140	289	113	10	32	66	10	110	365	750
	鶴 居	15	38	79	167	82	7	14	31	9	64	131	279
	組 合	78	35	113	226	310	8	28	55	30	84	293	580
令 和 3 年 末	弟 子 屈	31	25	123	221	101	8	38	68	10	77	381	684
	標 茶	26	42	140	280	110	10	33	66	10	110	364	729
	鶴 居	16	36	75	155	81	7	15	31	9	64	133	276
	組 合	80	34	113	219	310	8	29	55	30	84	293	563

予 防 編

一 般 家 庭 査 察 件 数

(令和3年中)

区 分	全世帯数	実施世帯数	改 善 指 導 事 項				
			暖房設備	煙突煙道	少 量 危険物	電 気 プロパン	そ の 他
弟 子 屈	3,814	0					
標 茶	3,642	0					
鶴 居	1,195	1,195					
計	8,651	1,195					

防 火 対 象 物 査 察 導 件 数

(令和3年中)

区 分	査 察 実 施 対 象 物 数	指 導 対 象 物 数	不 備 欠 陥 事 項										
			煙 突 煙 道 関 係	ス ト ー ブ 関 係	火 気 使 用 関 係	電 気 関 係	危 険 物 関 係	消 火 設 備 関 係	警 報 設 備 関 係	避 難 設 備 関 係	防 火 管 理 関 係	そ の 他	計
公 会 堂・集 会 場	18	14					9	5		8	8	5	35
遊 技 場・ダ ンスホー ル													-
飲 食 店	6	1						1				2	3
百 貨 店・マ ーケッ ト・店 舗	18	8					4	1	2	2	3	8	20
旅 館・ホ テ ル・宿 泊 所	53	34					6	10	16	18	16	38	104
寄 宿 舎・ 下 宿・共 同 住 宅	35	26					2	2	1	4	15	11	35
病 院・診 療 所・助 産 所	7	3					1				2	2	5
老 人 短 期 入 所 施 設 等	10	5					1	1	1		2	2	7
老 人 デイ サービ ス セン ター 等	15	6					1	1		1		3	6
幼 稚 園	1												-
小・中・高 等 学 校 等	17	8					2		2	4	3	1	12
図 書 館・ 博 物 館	2												-
公 衆 浴 場	1	1						1	1			1	3
車 両 停 車 場													-
神 社・寺 院・教 会	1	1									1		1
工 場・作 業 場	10	7					6	8	8		2	4	28
自 動 車 車 庫・駐 車 場	1												-
倉 庫	2												-
上 記 に 該 当 し な い 事 業 場	88	26					17	13		1	9	11	51
特 定 用 途 複 合 防 火 対 象 物	18	9					4	2	3	6	6	5	26
上 記 以 外 の 複 合 用 途 防 火 対 象 物	3	3					1	2	3	1		2	9
重 要 文 化 財 等													-
計	306	152	-	-	-	-	54	47	37	45	67	95	345

防 火 対 象 物 数

(令和3年中)

区 分	防火対象物総数	弟子屈消防署					標茶消防署					鶴居消防署							
		二階以下	三階	四階	五階以上	地階	選防火対象管理者	二階以下	三階	四階	五階以上	地階	選防火対象管理者	二階以下	三階	四階	五階以上	地階	選防火対象管理者
公会堂・集会場	78	16	1			1	16	49					19	12					12
遊技場・ダンスホール	2	1	1			1	2												
飲食店	69	35					12	20					9	14					
百貨店・マーケット・店舗	52	28	1			3	9	18					11	5					1
旅館・ホテル・宿泊所	91	51		1	10	11	27	16	1		1		6	11					4
寄宿舎・下宿・共同住宅	216	103	15	5			15	66	16					11					
病院・診療所・助産所	10	4	1				2	1	1					3					1
老人短期入所施設等	11	7		1		1	8	2					2	1					1
老人デイサービスセンター等	39	12					7	22					7	5					1
幼稚園																			
小・中・高等学校等	23	4	3			1	3	8	3				7	5					2
図書館・博物館	11	4	2			2	5	3					3	2					2
公衆浴場	6	5					2	1											
車両停車場	7	1						6					1						
神社・寺院・教会	20	10					7	8					3	2					2
工場・作業場	100	29				1	1	60	1		1		1	9					
自動車車庫・駐車場	32	19						13											
倉庫	82	26						55						1					
上記に該当しない事業場	162	44	3			5	6	88						27					7
特定用途複合防火対象物	143	63	3	1		11	19	74					20	2					2
上記以外の複合用途防火対象物	46	18	1			1	2	24						3					1
重要文化財等	2							2											
計	1202	480	31	8	10	(38)	143	536	22	0	2	(0)	89	113	0	0	0	(0)	36

(地階については、防火対象物総数に算入しない。)

建築許可等同意月別取扱件数

(令和3年中)

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
構 造 別	耐 火			1	3				1			1		6
	準耐火(非木造)													-
	準耐火(木造)			2							1			3
	防 火													-
	木 造											1	2	3
	そ の 他	1		1	2		1					2	1	8
建 築 別	新 築	1		3	5						1	4	2	16
	増 改 築			1			1	1					1	4
	そ の 他													-
階 層 別	1 階			1	4		1					4	1	11
	2 階	1		2	1				1		1		2	8
	3 階 以 上			1										1
用 途 別	住 宅	1		2	3						1	1	1	9
	店 舗											1		1
	旅館・ホテル等								1					1
	工場・作業場													-
	そ の 他			2	2		1					2	2	9
建築確認同意数		1		4	5		1		1		1	4	3	20
建築通知数			4	2	3	1	1	2	3	3	5	1		25

各種申請及び届出等の取扱件数

(令和3年中)

消防署別 区 分	弟子届	標 茶	鶴 居	計
危険物製造所等設置許可		4		4
危険物製造所等変更許可	2	3		5
危険物製造所等完成検査	3	6		9
危険物製造所等廃止届	1	7	5	13
危険物製造所等譲渡引渡届	2			2
危険物製造所等種類数量変更届				
仮貯蔵・仮取扱				
仮使用				
危険物保安監督者選解任届	5	5	1	11
防火管理者選任届	31	25	1	57
防火管理者解任届	29	25		54
自動火災報知設備	8	4	4	16
漏電火災警報器	1			1
屋内消火栓設備		1	1	2
その他の消防用設備	12	4		16
消防用設備等点検結果報告	246	162	154	562
消防計画書提出	37	16	1	54
防火対象物使用開始届	11	5	14	30
少量危険物貯蔵取扱届	19	6	7	32
その他届出	30	18	2	50
り災証明願	3	4	1	8
その他証明願	20			20
建築許可等同意	11	5	4	20
計	471	300	195	966

危険物製造所等別貯蔵・取扱数量

(令和3年12月末現在)

危険物製造所等の区分	設置数	貯蔵・取扱数量				
		第4類				
		第1石油類	第2石油類	第3石油類	第4石油類	計
屋内貯蔵所	3	600 ℓ	5,900 ℓ	250,000 ℓ	200 ℓ	256,700 ℓ
屋外貯蔵所	2		59,800 ℓ			59,800 ℓ
屋内タンク貯蔵所	2			17,000 ℓ		17,000 ℓ
屋外タンク貯蔵所	21		1,703,200 ℓ	83,400 ℓ		1,786,600 ℓ
地下タンク貯蔵所	58		1,171,860 ℓ	466,000 ℓ		1,637,860 ℓ
移動タンク貯蔵所	42		173,800 ℓ			173,800 ℓ
給油取扱所	14	339,400 ℓ	411,400 ℓ	34,090 ℓ		784,890 ℓ
船舶給油取扱所	1		19,000 ℓ			19,000 ℓ
自家用給油取扱所	15	16,197 ℓ	270,697 ℓ			286,894 ℓ
一般取扱所	12		276,280 ℓ	38,200 ℓ		314,480 ℓ
計	170	356,197 ℓ	4,091,937 ℓ	888,690 ℓ	200 ℓ	5,337,024 ℓ

地区別危険物製造所等設置状況

(令和3年12月末現在)

危険物製造所等の区分	設置数	弟子屈市街	南弟子屈	屈斜路	美留和	川湯市街	川湯温泉駅前	標茶市街	磯分内	塘路	虹別	久著呂	中茶安別	阿歴内	多和	鶴居市街	幌呂地区	久著呂	温根内	
屋内貯蔵所	3	1									1				1					
屋外貯蔵所	2	1						1												
屋内タンク貯蔵所	2					2														
屋外タンク貯蔵所	21	4						3	3						1		8	1	1	
地下タンク貯蔵所	57	13		1		14		15								11	3			
移動タンク貯蔵所	43	10	2			3		21	3			1				1	1	1		
給油取扱所	14	4	1			2		3			1	1				1	1			
船舶給油取扱所	1			1																
自家用給油取扱所	15	6	1					4	1								2			1
一般取扱所	12	2		1		1		5	1							1	1			
計	170	41	4	3	0	22	0	52	8	0	2	0	2	0	2	14	16	2	2	

火災予防のための広報活動 及び応急手当の普及啓発活動

消防機関において、予防消防が強く叫ばれている今日、防火思想の普及促進は、広報活動が最も効果的であるといえます。

当消防事務組合では、年間を通じ各種の広報活動を推進し、特に春・秋の火災予防運動には防災講話、防火立看板の設置、消火器取扱訓練、防火DVDの貸出し等を行い、防火思想の高揚を図っています。また、救命講習やイベントでの展示などを通して住民に対する応急手当の普及啓発に努めています。

予 防 広 報 活 動 状 況

区 分	対 象	備 考
広報車による宣伝	一般町村民	広報車による火災予防巡回宣伝を実施 春・秋（火災予防運動）・冬（歳末警戒）に 広報巡回
広報活動による宣伝	一般町村民	緊急伝達システムによる広報
防火資料配布	一般町村民	消防広報サイレン、住宅用火災警報器チラシ 配布、農協広報紙、防火チラシ配布、町広報 紙掲載、防火小冊子、消防ニュース
防火祭・催し物参加	一般町村民	行事を通し町民に防火思想の普及を図る （放水体験・車両展示等）
庁舎見学	保育所・幼稚園 小学校・中学校・高等学校	幼児から学生まで防火思想の高揚 消防業務体験受入（中学校・高等学校）
防火看板・ のぼり旗等	各地域	住宅用火災警報器設置促進、春と秋（火災予 防運動期間中）、防火標語
避難訓練指導	各事業所・学校等	消防用設備等取扱い
防火教室等	町内会等 （学校・各種事業所）	消火器取扱い、住宅用火災警報器設置促進、 防火映写会

普通・上級救命講習修了証交付状況

種別	町村別	年 別		令和2年末現在			令和3年中			総 計		
		性 別										
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	
普通 救命講習 （3時間）	弟子屈町	2,239	1,584	3,823	40	29	69	2,279	1,613	3,892		
	標茶町	4,778	4,111	8,889	136	60	196	4,914	4,171	9,085		
	鶴居村	601	205	806	56	36	92	657	241	898		
	計	7,618	5,900	13,518	232	125	357	7,850	6,025	13,875		
上級 救命講習 （8時間）	弟子屈町	205	37	242	15	8	23	220	45	265		
	標茶町	191	45	236	0	1	1	191	46	237		
	鶴居村	70	34	104	0	1	1	70	35	105		
	計	466	116	582	15	10	25	481	126	607		

施 設 編

消 防 庁 舎 の 現 況

(令和3年12月末現在)

町村別	名 称	所在地	構 造	延べ面積 (㎡)	建築年月
弟子屈町	消防本部・弟子屈消防署 弟子屈町消防団 団本部、女性消防部 第1・2分団	弟子屈町美里 3丁目8番1号	鉄筋 コンクリート 2階 建造建	2,069	平成29年 7月
	弟子屈町消防団第3分団 屈斜路消防部	弟子屈町字屈斜路 221番3	木造モルタル 平屋 建	35	平成元年 12月
	弟子屈町消防団第3分団 美留和消防部	弟子屈町字美留和	木造モルタル 平屋 建	65	昭和54年 10月
	弟子屈消防署川湯支署 弟子屈町消防団 川湯第1分団 川湯第2分団	弟子屈町川湯温泉 3丁目2番10号	鉄筋 コンクリート 2階 建造建	1,004	平成2年 12月
標茶町	標茶消防署・標茶消防団 団本部、女性消防部 第1・2分団	標茶町旭4丁目 6番2号	鉄筋 コンクリート 2階 建造建	1,248	昭和61年 6月
	標茶消防署磯分内分遣所 標茶消防団第3分団	標茶町字熊牛原野 15線西1番地	木造モルタル 平屋 建	240	昭和45年 10月
	標茶消防団第4分団(塘路)	標茶町字塘路 147番地2	鉄筋 コンクリート 平屋 建造建	96	平成2年 3月
	標茶消防団第5分団(虹別)	標茶町字虹別原野 67線105の1	鉄筋 コンクリート 平屋 建造建	197	昭和48年 11月
	標茶消防団第1分団 茶安別消防部	標茶町字中茶安別	木造モルタル 平屋 建	65	昭和52年 6月
	標茶消防団第2分団 久著呂消防部	標茶町字中久著呂	木造モルタル 平屋 建	65	昭和51年 10月
	標茶消防団第4分団 阿歴内消防部	標茶町字阿歴内	木造モルタル 平屋 建	65	昭和53年 9月
鶴居村	鶴居消防署・鶴居消防団 団本部、女性消防部 第1分団	鶴居村鶴居西 3丁目24番地	鉄筋 コンクリート 平屋 建造建	781	平成20年 12月
	鶴居消防団第2分団(中幌呂)	鶴居村幌呂西 3丁目13番地	木造一部鉄骨 平屋 建造建	189	平成5年 11月
	鶴居消防団第3分団(上幌呂)	鶴居村字幌呂原野 第1基線47番地4	木造一部鉄骨 平屋 建造建	160	平成7年 12月
	鶴居消防団第4分団(下久著呂)	鶴居村字久著呂 原野168番地	木造サイデイン グ 平屋 建	80	平成4年 10月
	鶴居消防団第1分団 下幌呂消防部	鶴居村字幌呂原野 南4線37-1	木平 屋 造建	124	平成27年 11月

消 防 機 械 現 有 数

(令和3年12月現在)

名 称	車 種	年代	購入年月日	年数	HP	ポンプ型式		配置場所
						型 式	級	
指揮車	トヨタRAV4	3	R 3.7.13	0	171			消 防 本 部
指揮車	トヨタランドクルーザー	9	H 9.8.7	24	190			弟子屈消防署
指揮車	ニッサンエクストレイル	1	R 1.12.3	2	135			弟子屈消防署
指揮車	トヨタハイエース	3	R 3.3.22	0	151			弟子屈消防署
救急車	トヨタハイメディック	19	H 19.2.8	14	151			弟子屈消防署
救急車	トヨタハイメディック	29	H 29.11.22	4	151			弟子屈消防署
先攻車	日野(6,000ℓ)	8	H 8.3.18	25	390	j-1	A2	弟子屈消防署
2号車	日野(3,000ℓ)	62	S 62.11.24	34	230	ME-5	A2	弟子屈町消防団
ポンプ1	ミツビシ(普通)	14	H 14.2.27	19	140	V3000	A1	弟子屈町消防団
水槽車	日野(10,000ℓ)	24	H 24.12.3	9	380			弟子屈消防署
屈斜路1号	いすゞフォワード(2,000ℓ)	3	H 3.4.12	30	195	V3000	A1	屈斜路消防部
美留和1号	ミツビシ(1,000ℓ)	13	H 13.11.20	20	140			美留和消防部
小型動力ポンプ	シバウラ(美留和1号)	5	H 5.12.13	28	60	SF-760E	B2	美留和消防部
〃	トーハツ(ポンプ車)	21	H 21.5.21	12		VF631	B2	弟子屈町消防団
〃	トーハツ(水槽車)	24	H 24.12.3	9		VF631	B2	弟子屈消防署
〃	シバウラ(美留和1号)	13	H 13.11.20	20	52	SF-756M	B2	美留和消防部
〃	シバウラ(予備)	58	S 58.7.22	38	55	B-709	B2	弟子屈消防署
〃	トーハツ(予備)	30	H 30.11.15	3	30	V7201	B2	弟子屈消防署
軽四貨物車	スバル	15	H 15.3.12	18	48			弟子屈消防署
輸送車	日野リエッセII	1	R 1.10.21	2	135			弟子屈町消防団
船外機付ゴムボート	インフレーターボート	1	R 1.7.16	2	75			弟子屈消防署
指揮車	トヨタクラウン	10	H 10.9.7	23	200			川 湯 支 署
支援車	ニッサンセレナ	22	H 31.2.27	2	135			弟子屈町消防団
救急車	トヨタハイメディック	15	H 15.10.30	18	180			川 湯 支 署
先攻車	日野(3,000ℓ)	12	H 12.12.27	21	300	ME-5	A2	川 湯 支 署
2号車	日野(普通)	27	H 27.9.16	6	140	MD260A	A2	弟子屈町消防団
水槽車	日野(10,000ℓ)	7	H 7.12.22	26	355			川 湯 支 署
屈折梯子車	日野(普通)	22	H 22.12.24	11	320	ME-5	A2	川 湯 支 署
軽四貨物車	ダイハツハイゼット	20	H 20.5.16	13	50			川 湯 支 署
小型動力ポンプ	シバウラ(予備)	14	H 14.7.25	19	56	SF-756MG	B2	川 湯 支 署
〃	トーハツ(予備)	24	H 24.12.5	9	30	VF-63AS	B2	川 湯 支 署
〃	トーハツ(2号車)	27	H 27.9.16	6	30	V7201	B2	川 湯 支 署
〃	シバウラ(水槽車)	7	H 7.12.22	26	56	SF-760F	B2	川 湯 支 署
指令1	トヨタハイエース	30	H 30.12.12	3	150			標 茶 消 防 署
指令2	トヨタランドクルーザーブロード	29	H 29.3.1	4	163			標 茶 消 防 署
連絡車	トヨタカローラアクシオ	27	H 27.7.6	6	103			標 茶 消 防 署
救急1	トヨタハイメディック	19	H 19.12.20	14	151			標 茶 消 防 署
救急2	トヨタハイエース	27	H 27.3.13	6	151			標 茶 消 防 署
先攻1	日野(5,000ℓ)	31	H 31.3.28	2	370	M21	A2	標 茶 消 防 署
先攻2	ニッサン(6,000ℓ)	17	H 17.2.9	16	400	j2	A1	標 茶 消 防 署
ポンプ2号車	日野(普通)	10	H 10.1.10	23	215	j2	A1	標 茶 消 防 署
救助工作車	ミツビシふそう	6	H 6.2.7	27	295			標 茶 消 防 署
水槽車	ニッサン(9,800ℓ)	22	H 22.2.1	11	355			標 茶 消 防 署
第3分団車	ニッサン(5,000ℓ)	14	H 14.2.20	19	430			第3分団(磯分内)
第4分団車	日野(1,500ℓ)	5	H 5.3.2	28	195	ME-5	A2	第4分団(塘路)
第5分団車	ミツビシ(5,000ℓ)	6	H 6.2.4	27	375			第5分団(虹別)
久著呂車	ミツビシキャンター(小型)	5	H 5.3.2	28	120			久著呂消防部
茶安別車	ミツビシキャンター(小型)	7	H 7.3.14	26	140			茶安別消防部
阿歴内車	ミツビシキャンター(小型)	8	H 8.2.23	25	140			阿歴内消防部
林野火災工作車	ベンツウニモグ	50	S 50.10.15	46	80			標 茶 消 防 署

名 称	車 種	年代	購入年月日	年数	HP	ポンプ型式		配置場所
						型 式	級	
小型動力ポンプ	トーハツ(予備)	23	H 23. 11. 29	10	62	VC7201	B2	阿歴内消防部
〃	シバウラ(予備)	55	S 55. 9. 10	41	40	B-709	B2	久著呂消防部
〃	トーハツ(9.8t水槽車)	22	H 22. 2. 1	11	30	VF63AS	B2	標茶消防署
〃	シバウラ(予備)	60	S 60. 7. 15	36	40	B-709	B2	茶安別消防部
〃	シバウラ(久著呂車)	5	H 5. 3. 2	28	55	B-715	B2	久著呂消防部
〃	シバウラ(第5分団車)	6	H 6. 2. 4	27	55	B-715	B2	第5分団(虹 別)
〃	シバウラ(茶安別車)	7	H 7. 3. 14	26	55	B-715	B2	茶安別消防部
〃	トーハツ(ポンプ2号車)	17	H 17. 2. 9	16	62	V7201	B2	標茶消防署
〃	シバウラ(予備)	7	H 7. 9. 13	26	55	B-715	B2	標茶消防署
〃	シバウラ(阿歴内車)	8	H 8. 2. 23	25	55	B-715	B2	阿歴内消防部
〃	シバウラ(第3分団車)	14	H 14. 2. 20	19	56	B-716	B2	第3分団(磯分内)
〃	トーハツ(予備)	3	R 3. 1. 20	0	30	VF63AS	B2	標茶消防署
輸 送 車	ミツビシローザ	6	H 6. 2. 23	27	120			標茶消防署
資器材搬送車	日野(普通)	17	H 17. 12. 6	16	220			防災ステーション
船外機付ゴムボート	レスプロデュラボート	3	R 3. 9. 26	0	9. 9	3v5		標茶消防署
指 令 車	トヨタアルファード	16	H 16. 12. 21	17	220			鶴居消防署
広 報 車	スバルフォレスター	23	H 23. 12. 15	10	148			鶴居消防署
救 急 車	トヨタハイメディック	19	H 19. 2. 14	14	151			鶴居消防署
救 急 車	トヨタハイメディック	29	H 29. 10. 12	4	151			鶴居消防署
運 搬 車	スバルサンバー	17	H 17. 12. 15	16	48			鶴居消防署
機 材 車	トヨタダイナ	3	R 3. 5. 26	0	106			鶴居消防署
水 槽 車	日野(10,000ℓ)	31	H 31. 1. 7	2	374			鶴居消防署
先 攻 車	日産ディーゼル(3,000ℓ)	8	H 8. 12. 20	25	295	R3	A2	鶴居消防署
タンク 1	ミツビシふそう(2,000ℓ)	13	H 13. 1. 26	20	200	V3000	A1	第 1 分 団
積 載 1	いすゞ	26	H 26. 12. 25	7	110			第 1 分 団
タンク 2	日野(3,500ℓ)	19	H 19. 12. 21	14	330	R3	A2	第 2 分 団
積 載 2	いすゞ	1	H 1. 12. 18	32	110			第 2 分 団
タンク 3	日野(2,000ℓ)	3	H 3. 2. 6	30	195	R3	A2	第 3 分 団
積 載 4	ミツビシふそう(1,000ℓ)	10	H 10. 1. 28	23	140			第 4 分 団
ポンプ 1	日野(600ℓ)	27	H 27. 11. 22	6	150	MZI	A2	下幌呂消防部
小型動力ポンプ	トーハツ(水槽車)	31	H 31. 1. 7	2	30	VF53AS	B2	鶴居消防署
〃	シバウラ(予備)	6	H 6. 11. 14	27	54	B-716	B2	鶴居消防署
〃	シバウラ(予備)	6	H 6. 11. 14	27	54	B-716	B2	鶴居消防署
〃	シバウラ(予備)	14	H 14. 1. 11	19	56	B-716	B2	鶴居消防署
〃	トーハツ(タンク1)	22	H 22. 11. 25	11	30	VF63AS	B2	第 1 分 団
〃	トーハツ(積載1)	26	H 26. 12. 25	7	30	VF63AS	B2	第 1 分 団
〃	トーハツ(ポンプ1)	22	H 22. 11. 25	11	30	VF63AS	B2	下幌呂消防部
〃	シバウラ(タンク2)	19	H 19. 12. 21	14	62	B-716	B2	第 2 分 団
〃	ラビット(積載2)	61	S 61. 10. 17	35	52	P-508	B2	第 2 分 団
〃	ラビット(積載2)	63	S 63. 10. 25	33	52	P-508RS	B2	第 2 分 団
〃	ラビット(タンク3)	27	H 27. 8. 1	6	34	EP572DAN	B2	第 3 分 団
〃	トーハツ(積載4)	27	H 27. 11. 10	6	30	VC72PROII	B2	第 4 分 団
〃	ラビット(積載4)	63	S 63. 10. 25	33	52	P-508RS	B2	第 4 分 団
総 計	車 名	第子屈	川 湯	標 茶	鶴 居	計		
	指 揮 車	4	1	2	2	9		本部1台(第子屈)
	救 急 自 動 車	2	1	2	2	7		
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	1	1	1	4		
	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	3	2	3	4	12		
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 水 槽 車	1	1	3	1	6		
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	1		3	3	7		
	屈 折 梯 子 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車		1			1		
	救 助 工 作 車			1		1		
	林 野 火 災 工 作 車			1		1		
支 援 車		1			1			
資 器 材 運 搬 車	1	1	1	2	5			
連 絡 車			1		1			
マ イ ク ロ バ ス (団 員 輸 送 車)	1	1	1		3			
船 外 機 付 ゴ ム ボ ー ト	1		1		2			

消 防 水 利 保 有 数

(令和3年12月末現在)

消防署・支署別		弟子屈	川 湯	標 茶	鶴 居	計
消 火 栓	公 設	99	22	97	17	235
	私 設	1		6		7
防 火 貯 水 槽	公 設	36	15	54	40	145
	私 設	1		2		3
自 然 水 利	公 設					
	私 設					
計		137	37	159	57	390

消 防 用 ホ ー ス 現 有 数

(令和3年12月末現在)

消防署・支署別	弟子屈		川 湯		標 茶		鶴 居		計	
	50mm	65mm	50mm	65mm	50mm	65mm	50mm	65mm	50mm	65mm
1級 (無傷・20m以上・経過年数5年未満)	6	31	8	14	29	80	0	22	43	147
2級 (15m以上又は経過年数5年以上10年未満)	10	33	4	30	1	28	102	170	117	261
3級 (15m未満又は経過年数9年以上)	107	136	45	135	141	343	49	16	342	630
4級 (10m未満)										
計	123	200	57	179	171	451	151	208	502	1,038

消防用機器及び資材保有状況

(令和3年12月末現在)

業務別	消防署・支署別		弟子屈	川 湯	標 茶	鶴 居	計
	品 名						
消 火 活 動 用	ホ ー ス		323本	236本	622本	359本	1540本
	エアフォームノズル		5	1	3		9
	ラインプロポーションナー		1	1	3	3	8
	泡 原 液		7630	2000	2600	4400	16630
	発 電 機		11	5	8	12	36
	投 光 器		17	7	14	17	55
	三 連 梯 子		2	1	1	2	6
	可燃性ガス検知器		2	1	1	2	6
	東消式発泡器		1				1
	噴霧消火装置(フォグテック)				1		1
救 助 活 動 用	空 気 呼 吸 器		16	9	16	9	50
	空気呼吸器用ボンベ		39	28	50	23	140
	高压ガス(空気)充てん器		1		1	1	3
	油圧式救助器具		1	2	1	3	7
	エンジンカッター		2	2	3	4	11
	チェーンソー		1	5	2	7	15
	空気式救助マット		2	1	1	3	7
	ハンドスピーカー		7	6	2	3	18
	エアーソー				1		1
	エアー・ツール				1		1
	耐 熱 服		2		2		4
	潜 水 器 具		7				7
	救 命 胴 衣		31	20	24	11	86
	救 命 浮 環		2		3	2	7
救 命 ボ ー ト		1		1	1	3	
救 急 活 動 用	血 圧 計		4	4	5	10	23
	聴 診 器		5	2	2	9	18
	血中酸素飽和度測定器		3	2	4	6	15
	心 電 計	車載2・携帯0		車載1・携帯1	車載2・携帯2	車載2・携帯2	車載7・携帯5
	経鼻エアウェイ		2	2	2	2	8
	喉 頭 鏡		4	1	4	4	13
	マギール鉗子		2	2	4	3	11
	ショック・パンツ		1	2	2		5
	自動式心臓マッサージ器				1	1	2
	自動体外式除細動器		3	2	2	3	10
	輸液・薬剤セット一式		2	1	2	2	7
	ラリゲアルマスク・ツウエイチューブ等		2	1	2	2	7
自 動 車 電 話					2	2	
在宅療法継続用資器材						0	
車 両 整 備 用	アセチレンガス溶接切断機		1		1		2
	交流アーク溶接機		1	1	1		3
	コンプレッサー		2	1	1	2	6
	バッテリー充電器		1	1	4	5	11
	ガレージジャッキ		2	2	3	7	14

火 災 統 計

火 災 概 況

火 災 件 数	22件（前年5件）				
焼 損 面 積 等	建物1,048㎡(床面積)	1,757㎡(表面積)	車両4台	林野395a	その他264a
	0				
損 害 額	37,396千円（前年18,185千円）				
死 者	0名（前年0名）				
負 傷 者	0名（前年0名）				

令和3年中の火災発生件数は22件で、前年より16件増である。これは、16日間に1件の割合で火災が発生したことになります。

なお、損害額は37,396千円（町村民1人当たり約2,252円）で前年に比べて19,211千円の増となっています。

釧路北部消防事務組合火災調査規程（昭和52年8月10日訓令第3号）の改正に伴い、これまで火災としていた小規模な火災についても「火災の定義」にあてはまる現象すべてを火災として統計することに変更したため火災件数が増加している要因となっています。

火 災 件 数

区 分	火 災 種 別					計
	建 物		林 野	車 両	そ の 他	
		う ち 農 家				
火 災 件 数	9件	2件	1件	4件	8件	22件
焼 損 面 積 等	(床) 1,048㎡ (表) 1,757㎡	<small>※内容物の一部焼損のみ</small>	395 a	4台	264 a	(床) 1,048㎡ (表) 1,757㎡ 4台 659a
損 害 額	34,965 千円	9,205 千円		2,431 千円		37,396 千円
死 者						0名
負 傷 者						0名

令和3年火災発生状況

火災 番号	発生 月日	発生場所	火元の 用途	焼損面積等 (㎡)	損害額 (千円)	出火原因	死傷 者数
1	1月5日	標茶町字熊牛原野	建物 (畜舎)	365(床)	4,545	牛舎火災、原因特定できず不明	無
2	1月7日	鶴居村幌呂	建物 (畜舎)	1,531(表) 4(床)	4,660	ジェットヒーターの輻射熱によりベニヤ板及び麻袋に引火(事後聞知火災)	無
3	1月31日	弟子屈町字奥春別原野	建物 (車庫)	1(表)	21	ストーブの取灰の残り火が段ボールに引火(事後聞知火災)	無
4	3月11日	標茶町字熊牛原野	建物 (住宅)	57(表) 10(床)	1,266	外壁をサンダーで切断していた火花が引火	無
5	3月11日	弟子屈町川湯温泉	建物 (空き家)	341(床)	6,518	空き家建物火災、原因特定できず不明	無
6	3月29日	標茶町富士	その他 (電線)		0	送電線3本の被覆が燃えた火災、原因特定できず不明	無
7	4月10日	標茶町字虹別原野	その他	1(a)	0	ごみ焼から枯草に着火し廃車車両に延焼	無
8	4月11日	鶴居村字雪裡原野	その他 (空地)	3(a)	0	ごみ焼が周辺の枯草に延焼	無
9	4月11日	標茶町虹別原野	その他 (旧牧草地)	127(a) 2(表)	0	空のペットボトルを燃やそうとしたところ、枯草に着火延焼拡大したもの	無
10	4月12日	弟子屈町字弟子屈	その他 (空地)	73(a)	0	たばこの吸い殻から枯草に延焼	無
11	4月12日	標茶町字塘路原野	林野	395(a)	0	山林麓から延焼拡大しているが出火原因特定できず不明	無
12	4月23日	鶴居村雪裡	車両	1(台)	160	トラクター走行中にエンジン付近より出火、原因特定できず不明	無
13	4月25日	鶴居村字下雪裡	その他 (電線)		0	電線と木の枝が干渉し出火	無
14	4月27日	鶴居村字幌呂原野	その他 (草地)	60(a)	0	集積した枯草を燃やし出火	無
15	6月22日	弟子屈町字鑑別原野	車両	1(台)	1,305	クラッチの過熱により出火	無
16	7月24日	標茶町字オソツベツ	車両	1(台)	460	牧草作業中にロールベアラーのベアリングが破損し摩擦熱により出火したもの	無
17	8月10日	標茶町開運	建物	96(表) 182(床)	12,294	焼却炉の火の粉が周囲可燃物に引火	無
18	8月16日	標茶町字オソツベツ	その他	0	0	伐採した木を土嚢袋に入れ塔型サイロに入れごみ焼きしたもの	無
19	9月23日	鶴居村	車両	1(台)	506	不明	無
20	10月15日	標茶町富士	建物	69(表) 146(床)	5,648	コンロの火の消し忘れ	無
21	10月12日	標茶町字塘路	建物 (D型ハウス)	0	0	グラインダーの火花により廃棄物に着火し作業台等に延焼した火災	無
22	12月24日	弟子屈町川湯温泉	建物	1(表)	13	テーブルタップからの出火(事後聞知火災)	無
		署別出火件数		区分別件数	焼損面積等	損害額合計	
		弟子屈	5 (0)	建物	9 (2)	焼損床面積	37,396千円 (18,185千円)
		標茶	11 (2)		1,048㎡	死傷者数合計 死者: 負傷者:	
		鶴居	6 (3)	林野	1 (1)		1,757㎡
		計	22 (5)	車両	4 (2)	395a	
				その他	8 (0)	264a	

※()内は前年の数値

消防署別火災発生状況

(令和3年中)

1. 建物火災

消防署名	区分	焼損面積	損害額	出動署員 及び団員数	死者	負傷者	火災発生 件数
弟子屈		341㎡ (床) 2㎡ (表)	6,552 千円	48名			3件
標茶		703㎡ (床) 224㎡ (表)	23,753 千円	114名			5件
鶴居		4㎡ (床) 1,531㎡ (表)	4,660 千円	2名			1件
計		1,048㎡ (床) 1,757㎡ (表)	34,965 千円	164名	0名	0名	9件

2. 車両火災

消防署名	区分	焼損台数	損害額	出動署員 及び団員数	死者	負傷者	火災発生 件数
弟子屈		1台	1,305 千円	3名			1件
標茶		1台	460 千円	6名			1件
鶴居		2台	666 千円	8名			2件
計		4台	2,431 千円	17名	0名	0名	4件

3. その他の火災 (林野火災含む)

消防署名	区分	焼損面積	損害額	出動署員 及び団員数	死者	負傷者	火災発生 件数
弟子屈		73 (a)		38名			1件
標茶		523 (a)		82名			5件
鶴居		63 (a)		30名			3件
計		659 (a)	0 千円	150名	0名	0名	9件

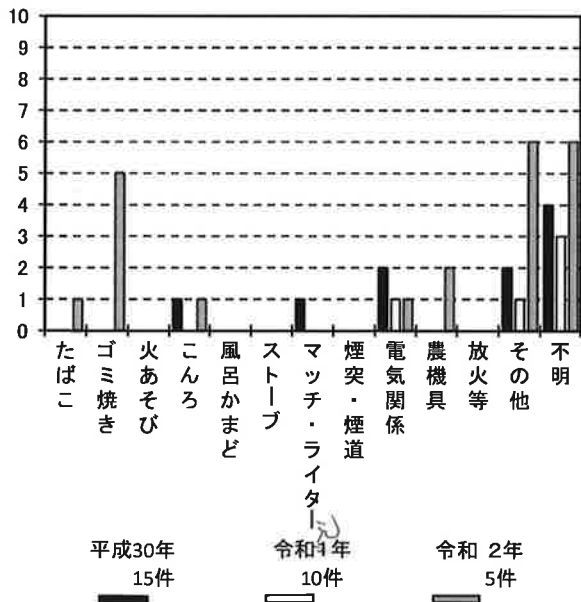
過去10ヶ年月別火災発生件数

年別	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成24年			1	1	3	1	1							7
平成25年		3		3			2	2	4	1	2		1	18
平成26年		2	1	1	1	2	2	2	1	2	1	1	1	17
平成27年					1		1	3	1			1		7
平成28年			2	1	3	2					1	1	2	12
平成29年		4	2		1	2		1	2				1	13
平成30年				2	4	1	1	1	1	2	2	1		15
令和元年				2	4	1	1	1	1	2	2	1		15
令和2年				1		2				1			1	5
令和3年		3		3	8		1	1	2	1	2		1	22

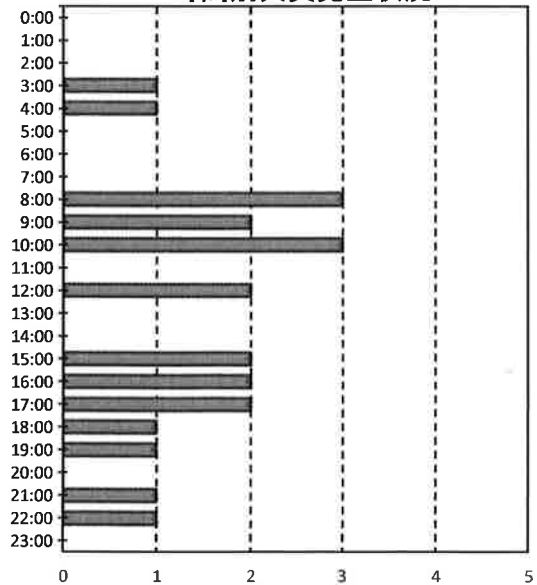
令和3年月別火災統計

区分 月別	件数 (件)				焼損棟数 (棟)			り災世帯数 (世帯)			り災者数 (名)			死傷者数 (名) 死 負 傷 者	焼損面積等	損害額 (千円)					
	建物	車両	林野	その他	ぼや	部分焼	全焼	小損	半損	全損	小損	半損	全損			建物	建物 収容物	車両	林野	その他	計
1月	3			3	1	1	1	3	1		1	2		2	1,532 m ² (表) 369 m ² (床)	7,026	540			1,660	9,226
2月																					
3月	2			1 3				2 2			1 1			3 3	57 m ² (表) 351 m ² (床)	7,468	316				7,784
4月		1	1	6 8											2 m ² (表) 659 (a)			160			160
5月																					
6月		1		1														1,305			1,305
7月		1		1														460			460
8月	1			1 2		1		1		1					96 m ² (表) 182 m ² (床)	4,211	8,083				12,294
9月		1		1														506			506
10月	2			2	1			1 2							69 m ² (表) 146 m ² (床)	3,570	2,078				5,648
11月																					
12月	1			1	1			1		1	1		1		1 m ² (表)	13					13
計	9	4	1	8 22	3	2	1	3 9	2		1 3	3		3 6	1,048 m ² (床) 1,757 m ² (表) 4台(車両) 395a(林野)	22,288	11,017	2,431		1,660	37,396

過去3カ年火災原因別発生件数



時間別火災発生状況



救 急 統 計

火 災 概 況

火 災 件 数	22件（前年5件）				
焼 損 面 積 等	建物1,048㎡（床面積）	1,757㎡（表面積）	車両4台	林野395a	その他264a
	0				
損 害 額	37,396千円（前年18,185千円）				
死 者	0名（前年0名）				
負 傷 者	0名（前年0名）				

令和3年中の火災発生件数は22件で、前年より16件増である。これは、16日間に1件の割合で火災が発生したことになります。

なお、損害額は37,396千円（町村民1人当たり約2,252円）で前年に比べて19,211千円の増となっています。

釧路北部消防事務組合火災調査規程（昭和52年8月10日訓令第3号）の改正に伴い、これまで火災としていた小規模な火災についても「火災の定義」にあてはまる現象すべてを火災として統計することに変更したため火災件数が増加している要因となっています。

火 災 件 数

区 分	火 災 種 別					計	
	建 物	林 野	車 両	そ の 他			
	うち農家						
火 災 件 数	9件	2件	1件	4件	8件	22件	
焼 損 面 積 等	(床) 1,048㎡ (表) 1,757㎡	※内容物の一部焼損のみ	395 a	4台	264 a	(床) 1,048㎡ (表) 1,757㎡ 4台 659a	
損 害 額	25,760 千円	9,205 千円		2,431 千円		37,396 千円	
死 者						0名	
負 傷 者						0名	

令和3年火災発生状況

火災 番号	発生 月日	発生場所	火元の 用途	焼損面積等 (㎡)	損害額 (千円)	出火原因	死傷 者数				
1	1月5日	標茶町字熊牛原野	建物 (畜舎)	365(床)	4,545	牛舎火災、原因特定できず不明	無				
2	1月7日	鶴居村幌呂	建物 (畜舎)	1,531(表) 4(床)	4,660	ジェットヒーターの輻射熱によりベニヤ板及び麻袋に引火(事後聞知火災)	無				
3	1月31日	弟子屈町字奥春別原野	建物 (車庫)	1(表)	21	ストーブの取灰の残り火が段ボールに引火(事後聞知火災)	無				
4	3月11日	標茶町字熊牛原野	建物 (住宅)	57(表) 10(床)	1,266	外壁をサンダーで切断していた火花が引火	無				
5	3月11日	弟子屈町川湯温泉	建物 (空き家)	341(床)	6,518	空き家建物火災、原因特定できず不明	無				
6	3月29日	標茶町富士	その他 (電線)		0	送電線3本の被覆が燃えた火災、原因特定できず不明	無				
7	4月10日	標茶町字虹別原野	その他	1(a)	0	ごみ焼から枯草に着火し廃車車両に延焼	無				
8	4月11日	鶴居村字雪裡原野	その他 (空地)	3(a)	0	ごみ焼が周辺の枯草に延焼	無				
9	4月11日	標茶町字虹別原野	その他 (旧牧草地)	127(a) 2(表)	0	空のペットボトルを燃やそうとしたところ、枯草に着火延焼拡大したもの	無				
10	4月12日	弟子屈町字弟子屈	その他 (空地)	73(a)	0	たばこの吸い殻から枯草に延焼	無				
11	4月12日	標茶町字塘路原野	林野	395(a)	0	山林麓から延焼拡大しているが出火原因特定できず不明	無				
12	4月23日	鶴居村雪裡	車両	1(台)	160	トラクター走行中にエンジン付近より出火、原因特定できず不明	無				
13	4月25日	鶴居村字下雪裡	その他 (電線)		0	電線と木の枝が干渉し出火	無				
14	4月27日	鶴居村字幌呂原野	その他 (草地)	60(a)	0	集積した枯草を燃やし出火	無				
15	6月22日	弟子屈町字鑑別原野	車両	1(台)	1,305	クラッチの過熱により出火	無				
16	7月24日	標茶町字オソツベツ	車両	1(台)	460	牧草作業中にロールペーラーのベアリングが破損し摩擦熱により出火したもの	無				
17	8月10日	標茶町開運	建物	96(表) 182(床)	12,294	焼却炉の火の粉が周囲可燃物に引火	無				
18	8月16日	標茶町字オソツベツ	その他	0	0	伐採した木を土嚢袋に入れ塔型サイロに入れごみ焼きしたもの	無				
19	9月23日	鶴居村	車両	1(台)	506	不明	無				
20	10月15日	標茶町富士	建物	69(表) 146(床)	5,648	コンロの火の消し忘れ	無				
21	10月12日	標茶町字塘路	建物 (D型ハウス)	0	0	グラインダーの火花により廃棄物に着火し作業台等に延焼した火災	無				
22	12月24日	弟子屈町川湯温泉	建物	1(表)	13	テーブルタップからの出火(事後聞知火災)	無				
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: right;">署別出火件数</div> <div style="text-align: left;">区分別件数</div> </div>		弟子屈		5	(0)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: right;">焼損面積等</div> <div style="text-align: left;">損害額合計</div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: right;">死傷者数合計</div> <div style="text-align: left;">死者:</div> </div>				
		標茶		11	(2)			37,396千円 (18,185千円)			
		鶴居		6	(3)			1,048㎡	1,757㎡		
		計		22	(5)			9	(2)	395a	
		計		22	(5)			1	(1)	4	4台
計		22	(5)	8	(0)	264a					

※()内は前年の数値

消防署別火災発生状況

(令和3年中)

1. 建物火災

消防署名	区分	焼損面積	損害額	出動署員 及び団員数	死者	負傷者	火災発生 件数
弟子屈		341㎡ (床) 2㎡ (表)	6,552 千円	48名			3件
標茶		703㎡ (床) 224㎡ (表)	23,753 千円	114名			5件
鶴居		4㎡ (床) 1,531㎡ (表)	4,660 千円	2名			1件
計		1,048㎡ (床) 1,757㎡ (表)	34,965 千円	164名	0名	0名	9件

2. 車両火災

消防署名	区分	焼損台数	損害額	出動署員 及び団員数	死者	負傷者	火災発生 件数
弟子屈		1台	1,305 千円	3名			1件
標茶		1台	460 千円	6名			1件
鶴居		2台	666 千円	8名			2件
計		4台	2,431 千円	17名	0名	0名	4件

3. その他の火災 (林野火災含む)

消防署名	区分	焼損面積	損害額	出動署員 及び団員数	死者	負傷者	火災発生 件数
弟子屈		73 (a)		38名			1件
標茶		523 (a)		82名			5件
鶴居		63 (a)		30名			3件
計		659 (a)	0 千円	150名	0名	0名	9件

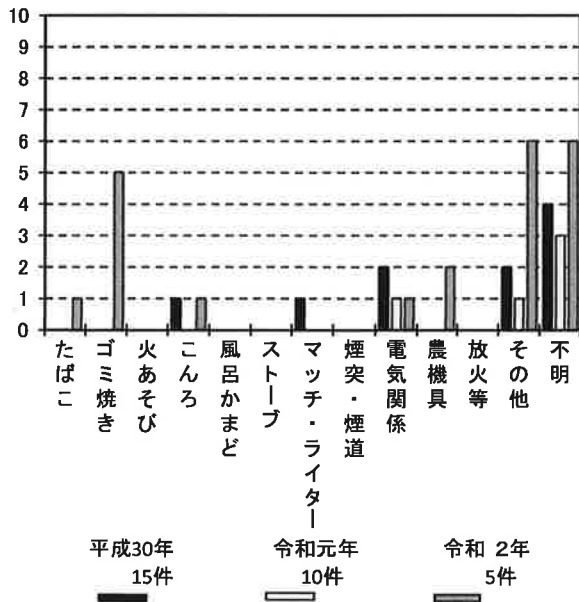
過去10ヶ年月別火災発生件数

年別	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成24年			1	1	3	1	1							7
平成25年		3		3			2	2	4	1	2		1	18
平成26年		2	1	1	1	2	2	2	1	2	1	1	1	17
平成27年					1		1	3	1			1		7
平成28年			2	1	3	2					1	1	2	12
平成29年		4	2		1	2		1	2				1	13
平成30年				2	4	1	1	1	1	2	2	1		15
令和元年				2	4	1	1	1	1	2	2	1		15
令和2年				1		2				1			1	5
令和3年		3		3	8		1	1	2	1	2		1	22

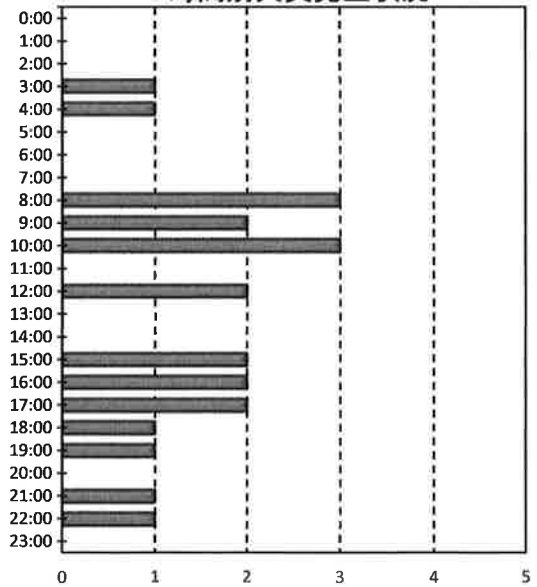
令和3年月別火災統計

区分 月別	件数 (件)				焼損棟数 (棟)			り災世帯数 (世帯)			り災者数 (名)			死傷者数 (名)	焼損面積等	損害額 (千円)							
	建物	車両	林野	その他	部分	半	全	小	半	全	小	半	全			死者	負傷者	建物	収容物	車両	林野	その他	計
1月	3			3	1	1	1	3	1		1	2		2		1,532㎡(表) 369㎡(床)	7,026	540			1,660	9,226	
2月																							
3月	2		1	3			2	2			1	1		3	3		57㎡(表) 351㎡(床)	7,468	316			7,784	
4月		1	1	6	8												2㎡(表) 659(a)			160		160	
5月																							
6月		1		1															1,305		1,305		
7月		1		1															460		460		
8月	1		1	2		1		1									96㎡(表) 182㎡(床)	4,211	8,083			12,294	
9月		1		1															506		506		
10月	2			2	1		1	2									69㎡(表) 146㎡(床)	3,570	2,078			5,648	
11月																							
12月	1			1	1			1	1		1		1				1㎡(表)	13				13	
計	9	4	1	8	22	3	2	1	3	9	2		1	3	3		1,048㎡(床) 1,757㎡(表) 4台(車両) 395a(林野)	22,288	11,017	2,431		1,660	37,396

過去3カ年火災原因別発生件数



時間別火災発生状況



救 急 概 況

令和3年中における救急業務実施状況は、救急出場件数960件で前年に比較すると19件の増加となり、搬送人員904人で前年より42人減少となっている。

このことは、1日当たり約2.6件の救急事故が発生し救急隊が出動しており、町村民約18人に1人が救急隊によって搬送されている。

又、搬送人員を事故種別でみると、急病がトップで483人、つづいて転院搬送が261人、一般負傷が91人と、この3種別が上位を占めている。

救 急 業 務 統 計

(平成24年～令和3年) 10箇年

区 分		計	救 急 事 故 種 別											
			火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他
平成 24 年	出 場 件 数	993	2		1	102	7	1	120	2	9	530	213	6
	不 搬 送 件 数	66	1		1	10			7	1	5	35	2	4
	搬 送 人 員	946	1			111	7	1	113	1	4	495	211	2
平成 25 年	出 場 件 数	981	1		1	60	18		129		8	501	258	5
	不 搬 送 件 数	45	1		1	10			6		3	19		5
	搬 送 人 員	948				62	18		123		5	482	258	
平成 26 年	出 場 件 数	1087	1		1	67	14	3	145	3	11	558	276	8
	不 搬 送 件 数	62			1	17			7		2	26	1	8
	搬 送 人 員	1038	1			60	14	3	140	3	9	533	275	
平成 27 年	出 場 件 数	1023	1		1	90	18	2	134	1	6	497	263	10
	不 搬 送 件 数	66	1		1	14	2		8	1	3	27	1	8
	搬 送 人 員	970				90	16		126		3	471	262	2
平成 28 年	出 場 件 数	993	1		2	101	17	1	121		4	501	241	4
	不 搬 送 件 数	61			1	22			6		1	26	2	3
	搬 送 人 員	951	1		1	97	17	1	115		3	476	239	1
平成 29 年	出 場 件 数	992				61	21	3	140	1	12	502	247	5
	不 搬 送 件 数	50				9		1	6	1	4	24	1	4
	搬 送 人 員	951				59	21	2	135		8	479	246	1
平成 30 年	出 場 件 数	1027	1		3	69	14	2	128	2	8	506	289	5
	不 搬 送 件 数	54			1	13			4		3	29	1	3
	搬 送 人 員	986	1		2	64	14	2	127	2	5	477	290	2
令 和 元 年	出 場 件 数	974	1		2	84	9		101	1	10	502	259	5
	不 搬 送 件 数	60				13			8		7	26	2	4
	搬 送 人 員	932	1		3	87	9		93	1	3	477	257	1
令 和 2 年	出 場 件 数	993			3	56	15	1	114	3	14	501	279	7
	不 搬 送 件 数	50	2			8			3	2	5	22	1	7
	搬 送 人 員	946			3	48	15	1	111	1	9	479	279	
令 和 3 年	出 場 件 数	960			1	53	14	1	95		4	519	262	11
	不 搬 送 件 数	62				8	1		4		2	36	1	10
	搬 送 人 員	904			1	51	13	1	91		2	483	261	1

